

bizhub C3110

ユーザーズガイド プリント機能編



もくじ

1 プリンター機能について

1.1	プリンター機能の概要	1-2
1.2	必要なシステム環境	1-2
	Windowsをお使いの場合	1-2
	Mac OSをお使いの場合	1-2
1.3	本機のケーブル接続箇所	1-3

2 Windows 環境で印刷する

2.1	印刷の準備（ネットワーク接続）	2-2
2.1.1	概要	2-2
2.1.2	プリンタードライバーをインストールする前に（管理者向け） LANケーブルの接続を確認する ネットワーク設定を確認する ネットワーク印刷の使用環境を設定する プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可する	2-2 2-3 2-3 2-3 2-3
2.1.3	プリンタードライバーの簡単インストール プリンタードライバーのCD-ROMを準備する プリンタードライバーの種類を確認する プリンタードライバーの対応OSを確認する インストール手順	2-4 2-5 2-5 2-6 2-7
2.1.4	プリンタードライバーの初期設定をする 本機のオプション環境を設定する 印刷設定の初期値を変更する	2-9 2-9 2-9
2.2	印刷の準備（USB接続）	2-10
2.2.1	概要	2-10
2.2.2	プリンタードライバーの簡単インストール プリンタードライバーのCD-ROMを準備する プリンタードライバーの種類を確認する プリンタードライバーの対応OSを確認する インストール設定を変更する（Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2） インストール手順	2-10 2-11 2-11 2-12 2-13 2-14
2.2.3	プリンタードライバーの初期設定をする 本機のオプション環境を設定する 印刷設定の初期値を変更する	2-16 2-16 2-16
2.3	印刷のしかた	2-17
2.3.1	印刷の流れ	2-17
2.3.2	よく使う印刷設定を簡単に呼出す よく使う印刷設定を登録する 設定画面をカスタマイズする	2-18 2-18 2-19
2.4	便利な印刷機能	2-20
2.4.1	用紙のサイズや種類を変更して印刷する 用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷する（[用紙サイズ]） 任意の倍率で拡大／縮小して印刷する（[ズーム]） 特殊なサイズの用紙に印刷する（[原稿サイズ]） 用紙の種類を指定して印刷する（[用紙種類]） 給紙トレイを指定して印刷する（[給紙トレイ]） はがきに印刷する	2-20 2-20 2-20 2-21 2-21 2-22 2-22
2.4.2	複数の部数を印刷する 印刷部数を指定する（[部数]） 部単位で印刷する（[ソート（1部ごと）]）	2-23 2-23 2-23
2.4.3	印刷枚数を節約する 複数のページを1枚の用紙の同じ面に印刷する（[ページ割付]） 用紙の両面に印刷する（[両面]）	2-24 2-24 2-24

白紙ページを印刷しない ([白紙抑制])	2-25
印刷済みの用紙の裏面に印刷する ([印刷済み用紙の裏に印刷])	2-25
2.4.4 レイアウトを調整して印刷する	2-26
小冊子のように印刷する ([小冊子])	2-26
用紙にとじしろを作る ([とじしろ])	2-27
ポスターのように大きく印刷する ([ページ割付])	2-28
180 度回転して印刷する ([180 度回転])	2-28
印刷位置を微調整する ([画像シフト])	2-29
2.4.5 原稿に文字や画像を追加する	2-30
ウォーターマークを追加する ([ウォーターマーク])	2-30
ウォーターマークの登録／編集をする	2-30
オーバーレイ画像を合成する ([オーバーレイ印刷])	2-31
コンピューターにオーバーレイ画像を作成する	2-33
2.4.6 不正コピーを抑止する	2-34
隠し文字を印字する ([コピープロテクト])	2-34
コピープロテクトの印字設定をする	2-34
2.4.7 原稿に用紙を挿入して印刷する	2-35
表紙や裏表紙を挿入する ([表カバー] / [裏カバー])	2-35
区切りページを挿入する ([区切りページ])	2-35
2.4.8 カラーや画質を指定して印刷する	2-36
印刷の色を選ぶ ([カラー選択])	2-36
印刷の解像度を指定する ([解像度])	2-36
原稿に合わせて画質を微調整する ([画質調整])	2-37
原稿に適したカラー表現を選ぶ ([カラー設定])	2-38
グラフィックパターンの密度を指定する ([パターン])	2-39
グラフィックイメージの圧縮率を指定する ([イメージ圧縮])	2-39
トナー消費量を節約する ([トナー節約])	2-40
文字などの境界をくっきりさせる ([エッジ強度])	2-40
フォントの処理方法を指定する ([フォント設定])	2-40
2.4.9 MS-Excel/PowerPoint のデータを印刷する	2-42
Excel の複数のシートを同時に印刷する	2-42
PowerPoint で正しく画像合成して印刷する	2-42
細い線がかすれないように印刷する ([極細線を描画する])	2-43
2.5 こんな印刷のしかたがあります	2-44
2.5.1 1 部だけお試し印刷する ([試し印刷])	2-44
試し印刷について	2-44
コンピューターからの印刷のしかた	2-44
本機での操作	2-44
2.5.2 機密性の高い文書を印刷する ([機密印刷])	2-45
機密印刷について	2-45
コンピューターからの印刷のしかた	2-45
本機での操作	2-46
2.5.3 原稿を本機のハードディスクに保存する ([保存] / [保存 & 印刷])	2-47
保存について	2-47
コンピューターからの印刷のしかた	2-47
保存したデータの活用	2-47
2.5.4 認証情報をつけて印刷する	2-48
認証設定時の印刷について	2-48
お使いになるために必要な作業	2-48
コンピューターからの印刷のしかた	2-49
2.5.5 本機で認証すると同時に印刷する (認証 & プリント)	2-50
認証 & プリントについて	2-50
コンピューターからの印刷のしかた	2-50
本機での操作 (ログインと同時に印刷する)	2-51
本機での操作 (特定のデータだけを印刷する)	2-51
2.6 プリンタードライバーの設定項目	2-52
2.6.1 プリンタードライバーの [プロパティ] 画面について	2-52
[プロパティ] 画面の表示のしかた	2-52
Windows が提供するタブについて	2-54
2.6.2 [装置情報] タブでできること	2-55
2.6.3 [初期設定] タブでできること	2-55

2.6.4	プリンタードライバーの [印刷設定] 画面について	2-56
	[印刷設定] 画面の表示のしかた	2-56
	各タブで共通の項目	2-59
2.6.5	[詳細設定] でできること	2-59
2.6.6	[My タブ] でできること	2-59
2.6.7	[基本設定] タブでできること	2-60
2.6.8	[レイアウト] タブでできること	2-61
2.6.9	[カバーシート / 挿入紙] タブでできること	2-62
2.6.10	[スタンプ / ページ印字] タブでできること	2-62
2.6.11	[画像品質] タブでできること	2-63
2.6.12	[その他] タブでできること	2-64
2.7	プリンタードライバーを削除する	2-65
	削除プログラムで削除する	2-65
	インストーラーを使って削除する	2-65

3 Mac OS 環境で印刷する

3.1	印刷の準備 (Bonjour 接続)	3-2
3.1.1	概要	3-2
3.1.2	コンピューターのセットアップの前に (管理者向け)	3-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	3-2
	Bonjour の使用設定をする	3-2
3.1.3	コンピューターのセットアップ	3-3
	プリンタードライバーの CD-ROM を準備する	3-3
	プリンタードライバーの対応 OS を確認する	3-3
	プリンタードライバーをインストールする	3-4
	Bonjour による接続設定 (Mac OS X 10.4 以降)	3-5
	Rendezvous による接続設定 (Mac OS X 10.3)	3-6
3.1.4	プリンタードライバーの初期設定をする	3-7
	本機のオプション環境を設定する	3-7
	印刷設定の初期値を変更する	3-7
3.2	印刷の準備 (USB 接続)	3-8
3.2.1	概要	3-8
3.2.2	コンピューターのセットアップ	3-8
	プリンタードライバーの CD-ROM を準備する	3-8
	プリンタードライバーの対応 OS を確認する	3-8
	プリンタードライバーをインストールする	3-9
	USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.5 以降)	3-10
	USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.4)	3-11
	USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.3)	3-11
3.2.3	プリンタードライバーの初期設定をする	3-12
	本機のオプション環境を設定する	3-12
	印刷設定の初期値を変更する	3-12
3.3	印刷のしかた	3-13
3.3.1	印刷の流れ	3-13
3.3.2	よく使う印刷設定を登録する	3-14
3.4	便利な印刷機能	3-15
3.4.1	用紙のサイズや種類を変更して印刷する	3-15
	任意の倍率で拡大／縮小して印刷する ([拡大縮小 :])	3-15
	特殊なサイズの用紙に印刷する ([ページ設定])	3-15
	用紙の種類を指定して印刷する ([用紙種類 :])	3-16
	給紙トレイを指定して印刷する ([給紙])	3-16
	近いサイズの用紙に拡大／縮小して印刷する ([近似サイズに拡大縮小])	3-16
3.4.2	複数の部数を印刷する	3-17
	印刷部数を指定する ([部数 :])	3-17
	部単位で印刷する ([ソート (1 部ごと)])	3-17
3.4.3	印刷枚数を節約する	3-18
	用紙の両面に印刷する ([両面])	3-18
	複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に印刷する ([ページ数／枚 :])	3-18
	印刷済みの用紙の裏面に印刷する ([印刷済み用紙の裏に印刷])	3-18

3.4.4	レイアウトを調整して印刷する	3-19
	左右を反転して印刷する（[左右反転]）	3-19
	180度回転して印刷する（[ページの方向を反転]）	3-19
3.4.5	表紙を挿入する	3-20
	表紙を挿入して印刷する（[給紙]）	3-20
	表紙にメッセージを印刷する（[表紙]）	3-20
3.4.6	カラー・や画質を指定して印刷する	3-21
	グレースケールで印刷する（[グレースケール]）	3-21
	原稿に合わせて明るさを微調整する（[明度:]）	3-21
	印刷の解像度を指定する（[解像度:]）	3-21
	原稿に適したカラー表現を選ぶ（[カラー設定:]）	3-22
	トナー消費量を節約する（[トナー節約]）	3-23
	小さい文字や薄い文字を見やすくする（[エッジ強度:]）	3-23
3.4.7	カラープロファイルを使う	3-24
	本機にカラープロファイルを登録する	3-24
	カラープロファイルをプリンタードライバーに追加する	3-24
3.5	こんな印刷のしかたがあります	3-26
3.5.1	1部だけお試し印刷する（[試し印刷]）	3-26
	試し印刷について	3-26
	コンピューターからの印刷のしかた	3-26
	本機での操作	3-26
3.5.2	機密性の高い原稿を印刷する（[機密印刷]）	3-27
	機密印刷について	3-27
	コンピューターからの印刷のしかた	3-27
	本機での操作	3-27
3.5.3	認証情報をつけて印刷する	3-28
	認証設定時の印刷について	3-28
	コンピューターからの印刷のしかた	3-28
3.5.4	本機で認証すると同時に印刷する（[認証＆プリント]）	3-29
	認証＆プリントについて	3-29
	コンピューターからの印刷のしかた	3-29
	本機での操作（ログインと同時に印刷する）	3-30
	本機での操作（特定のデータだけを印刷する）	3-30
3.6	プリンタードライバーの設定項目	3-31
3.6.1	プリンタードライバーの「[ページ設定]」画面について	3-31
	「[ページ設定]」画面の表示のしかた	3-31
	「[ページ属性]」でできること	3-31
3.6.2	プリンタードライバーの「[プリント]」画面について	3-32
	「[プリント]」画面の表示のしかた	3-32
	各画面で共通の項目について	3-32
3.6.3	「[レイアウト]」でできること	3-33
3.6.4	「[スケジューラ]」でできること	3-33
3.6.5	「[用紙処理]」でできること	3-33
3.6.6	「[ColorSync]」でできること	3-34
3.6.7	「[カラー・マッチング]」でできること	3-34
3.6.8	「[表紙]」でできること	3-34
3.6.9	「[エラー処理]」でできること	3-34
3.6.10	「[給紙]」でできること	3-35
3.6.11	「[カラーオプション]」でできること	3-35
3.6.12	「[セキュリティ]」でできること	3-35
3.6.13	「[プリンタの機能]」でできること	3-36
3.6.14	「[サプライのレベル]」でできること	3-36
3.6.15	「[一覧]」でできること	3-36
3.7	プリンタードライバーの削除	3-37

4 プリンタードライバーを使わずに印刷する

4.1	コンピューターから直接印刷する（ダイレクトプリント）	4-2
	ダイレクトプリントについて	4-2
	ダイレクトプリントのしかた	4-2

4.2	USB メモリーから直接印刷する	4-4
	USB メモリーからの印刷について	4-4
	対応する USB メモリー	4-4
	印刷のしかた	4-5
4.3	AirPrint 対応端末から印刷する (AirPrint)	4-6
	AirPrint について	4-6
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け)	4-6
	iOS 端末から印刷する	4-6
	Mac から印刷する	4-7
4.4	Android 端末から印刷する (Mopria プリント)	4-8
	Mopria プリント機能について	4-8
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け)	4-8
	印刷のしかた	4-8
4.5	Wi-Fi Direct を使って印刷する	4-9
	Wi-Fi Direct について	4-9
	本機側 : お使いになるために必要な作業 (管理者向け)	4-9
	端末側 : お使いになるために必要な作業	4-9
	モバイル端末から印刷する	4-9
	コンピューターから印刷する	4-9

5 索引

1

プリンター機能について

1 プリンター機能について

1.1 プリンター機能の概要

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに、本機での印刷のしかたを指定するためのソフトウェアです。お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールすることで、本機の様々な印刷機能を利用できます。また、多くの接続方法をサポートしており、様々な環境で柔軟に対応します。

プリンタードライバーを使わずに直接印刷するダイレクトプリントや、USB メモリーからの印刷にも対応しています。

1.2 必要なシステム環境

Windows をお使いの場合

項目	仕様
OS	使用するプリンタードライバーの種類によって、対応する OS のバージョンが異なります。詳しくは、2-6 ページをごらんください。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

Mac OS をお使いの場合

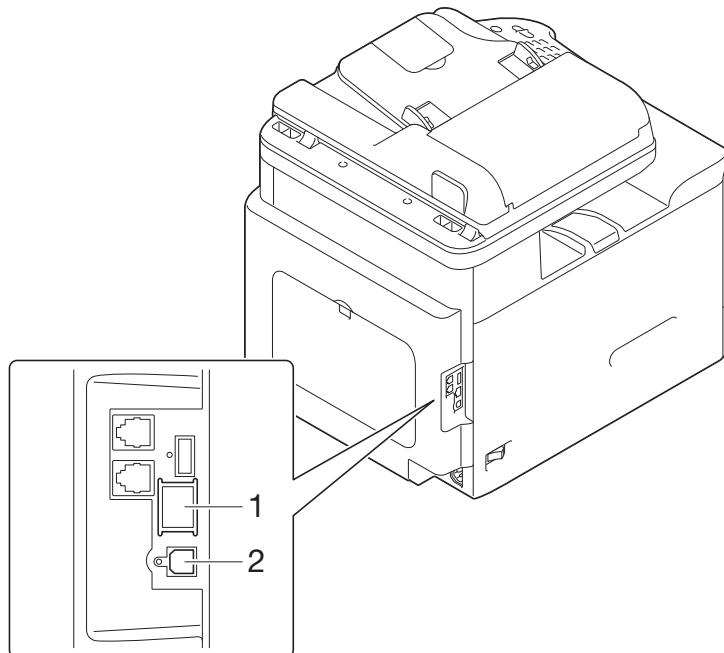
項目	仕様
OS	Mac OS X (10.3.x、10.4.x、10.5.x、10.6.x、10.7.x、10.8.x、10.9.x、10.10.x)
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ



Linux 用プリンタードライバーの使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 5 章「Linux 環境で印刷する」をごらんください。

1.3 本機のケーブル接続箇所

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。



No.	ポート	説明
1	Ethernet (LAN) ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)	ネットワーク接続でお使いになるときに LAN ケーブルを接続します。1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。 プロトコルは、TCP/IP (LPD/LPR、IPP)、Web サービスなどに 対応しています。
2	USB ポート	USB 接続でお使いになるときに USB ケーブルを接続します。 USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) -B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめします。

2

Windows 環境で印刷する

2 Windows 環境で印刷する

2.1 印刷の準備（ネットワーク接続）

2.1.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。

2.1.2 プリンタードライバーをインストールする前に（管理者向け）

本機をネットワークに接続する

- LAN ケーブルの接続を確認する
- ネットワーク設定を確認する
 - 本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。



ネットワーク印刷の使用環境を設定する

- 標準印刷（Port 9100）を利用する場合
 - RAW ポート番号が指定されていることを確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。特に指定がない場合は、標準印刷（Port 9100）を利用してください。
- インターネット印刷（IPP）を利用する場合
 - IPP の使用環境を確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。
- セキュリティ印刷（IPPS）を利用する場合
 - IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。



準備完了

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。

ネットワーク設定を確認する

設定情報リストを印刷し、本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。

設定情報リストは、メイン画面の [レポート / ステータス] - [レポート] - [設定情報リスト] から印刷します。



IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、[すぐに使える簡単設定ガイド] をごらんください。

ネットワーク印刷の使用環境を設定する

印刷方法に応じて使用環境を設定します。

印刷方法を指定せずにインストールを進めると、標準印刷（Port9100）で印刷できる状態になります。特に指定がない場合は、標準印刷（Port 9100）を利用してください。

設定のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

印刷方法	説明
標準印刷（Port 9100）	RAW ポート番号が指定されていることを確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。
インターネット印刷（IPP）	IPP の使用環境を確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。
セキュリティ印刷（IPPS）	IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。



参考

- Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合、インストーラーを使ってセキュリティ印刷（IPPS）をセットアップすることはできません。
- IPv6 環境で Windows Server 2003 をお使いの場合、インストーラーを使ってセットアップすることはできません。
- IPv6 環境では、インターネット印刷（IPP）は対応していません。

プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可する

OpenAPI の認証機能を無効にします（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。

プリンタードライバーからの装置情報の取得を許可すると、本機のオプション装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーが自動で取得します。

設定のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

2.1.3 プリンタードライバーの簡単インストール

プリンタードライバーを準備する

- プリンタードライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- プリンタードライバーの種類を確認する
 - 目的の異なる 3 種類のプリンタードライバーを用意しています。印刷の用途に合わせて選んでください。
- プリンタードライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする
 - プリンタードライバーの CD-ROM をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- テスト印刷をする
 - 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。



準備完了

プリンタードライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。プリンタードライバーは、Driver & Utilities CD-ROM に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、Linux 用プリンタードライバー、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

プリンタードライバーの種類を確認する

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
XPS ドライバー	XPS	Windows Vista 以降に登場した XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の CD-ROM に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとあります。

プリンタードライバー	対応 OS
PCL ドライバー PS ドライバー	Windows Server 2003, Standard Edition (SP2 以降) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP2 以降) Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Vista Business (SP2 以降) Windows Vista Enterprise (SP2 以降) Windows Vista Home Basic (SP2 以降) Windows Vista Home Premium (SP2 以降) Windows Vista Ultimate (SP2 以降) Windows Server 2008 Standard (SP2 以降) Windows Server 2008 Enterprise (SP2 以降) Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Enterprise Windows 7 Ultimate Windows 8 /Windows 8.1 Windows 8 Pro /Windows 8.1 Pro Windows 8 Enterprise /Windows 8.1 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard
XPS ドライバー	Windows Vista Business (SP2 以降) Windows Vista Enterprise (SP2 以降) Windows Vista Home Basic (SP2 以降) Windows Vista Home Premium (SP2 以降) Windows Vista Ultimate (SP2 以降) Windows Server 2008 Standard (SP2 以降) Windows Server 2008 Enterprise (SP2 以降) Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Enterprise Windows 7 Ultimate Windows 8 /Windows 8.1 Windows 8 Pro /Windows 8.1 Pro Windows 8 Enterprise /Windows 8.1 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard

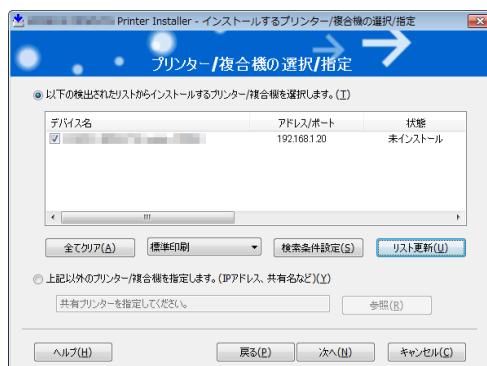
* 32 ビット (x86) /64 ビット (x64) 環境に対応

インストール手順

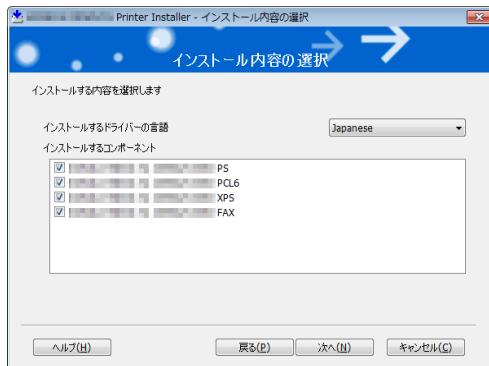
インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM を使います。

- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [プリンター／ファクス] をクリックします。
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 4 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
 - Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[IPv4 優先] / [IPv6 優先] を選べます。IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。
- 6 本機を選び、[次へ] をクリックします。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 印刷方法は、管理者から特に指定がない場合は、[標準印刷] (Port 9100) から変更する必要はありません。
 - 印刷方法は、[標準印刷] のほか、[インターネット印刷] (IPP) や [セキュリティ印刷] (IPPS) を選べます。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します。 (IP アドレス、共有名など)] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 7 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 → 各プリンタードライバーの特長については、2-5 ページをごらんください。



- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
 以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、2-9 ページをごらんください。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、2-9 ページをごらんください。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



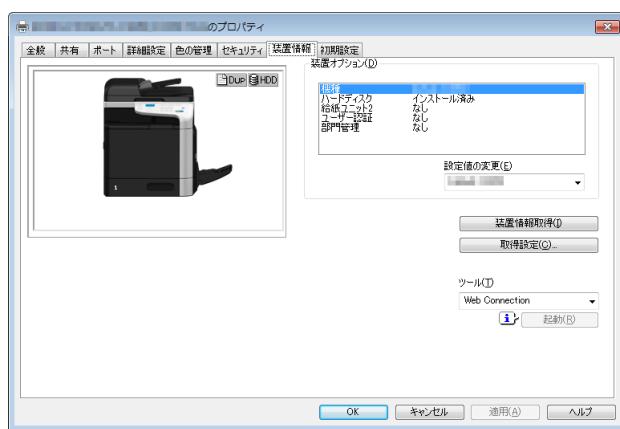
プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。
 詳しくは、2-9 ページをごらんください。

2.1.4 プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などが正しくプリンタードライバーに反映されているか確認します。

- 1 プリンタードライバーの【プロパティ】画面を表示します。
→【プロパティ】画面の表示のしかたについては、2-52ページをごらんください。
- 2 【装置情報】タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを確認します。
→初期設定では、【取得設定...】の【自動取得】が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、【装置オプション】に反映されます。
→【取得設定...】の【自動取得】を無効にしている場合は、【装置情報取得】をクリックすると、本機の情報を取得して【装置オプション】に反映します。
→本機と通信できない場合は、【装置オプション】から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、【設定値の変更】から設定値を選びます。



- 3 [OK] をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、プリンタードライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

- 1 プリンタードライバーの【印刷設定】画面を表示します。
→【印刷設定】画面の表示のしかたについては、2-56ページをごらんください。
- 2 印刷設定を変更し、[OK] をクリックします。
変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアから印刷するときに適用されます。



プリンタードライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。よく使う印刷設定は、お気に入りとして登録しておくと便利です。詳しくは、2-18ページをごらんください。

2.2 印刷の準備 (USB 接続)

2.2.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。

2.2.2 プリンタードライバーの簡単インストール

プリンタードライバーを準備する

- プリンタードライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- プリンタードライバーの種類を確認する
 - 目的の異なる 3 種類のプリンタードライバーを用意しています。印刷の用途に合わせて選んでください。
- プリンタードライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- コンピューターのインストール設定をする
 - Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合は、あらかじめコンピューターの設定の変更が必要です。
- インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする
 - USB ケーブルを接続してから、プリンタードライバーの CD-ROM をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- テスト印刷をする
 - 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。



準備完了

プリンタードライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。プリンタードライバーは、Driver & Utilities CD-ROM に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、Linux 用プリンタードライバー、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

プリンタードライバーの種類を確認する

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
XPS ドライバー	XPS	Windows Vista 以降に登場した XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の CD-ROM に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとあります。

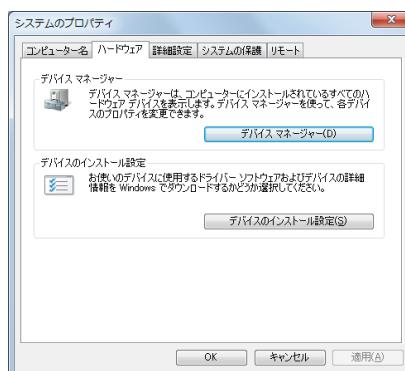
プリンタードライバー	対応 OS
PCL ドライバー PS ドライバー	Windows Server 2003, Standard Edition (SP2 以降) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP2 以降) Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Vista Business (SP2 以降) Windows Vista Enterprise (SP2 以降) Windows Vista Home Basic (SP2 以降) Windows Vista Home Premium (SP2 以降) Windows Vista Ultimate (SP2 以降) Windows Server 2008 Standard (SP2 以降) Windows Server 2008 Enterprise (SP2 以降) Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Enterprise Windows 7 Ultimate Windows 8 /Windows 8.1 Windows 8 Pro /Windows 8.1 Pro Windows 8 Enterprise /Windows 8.1 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard
XPS ドライバー	Windows Vista Business (SP2 以降) Windows Vista Enterprise (SP2 以降) Windows Vista Home Basic (SP2 以降) Windows Vista Home Premium (SP2 以降) Windows Vista Ultimate (SP2 以降) Windows Server 2008 Standard (SP2 以降) Windows Server 2008 Enterprise (SP2 以降) Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Enterprise Windows 7 Ultimate Windows 8 /Windows 8.1 Windows 8 Pro /Windows 8.1 Pro Windows 8 Enterprise /Windows 8.1 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard

* 32 ビット (x86) /64 ビット (x64) 環境に対応

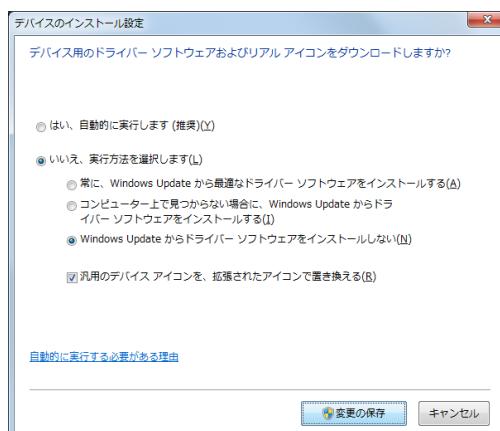
インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2)

Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2をお使いの場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューターの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [④] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
→ プリンタードライバーのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



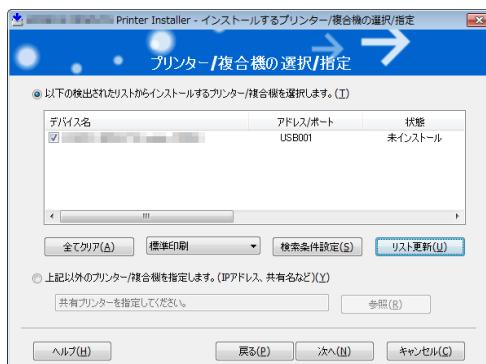
- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

インストール手順

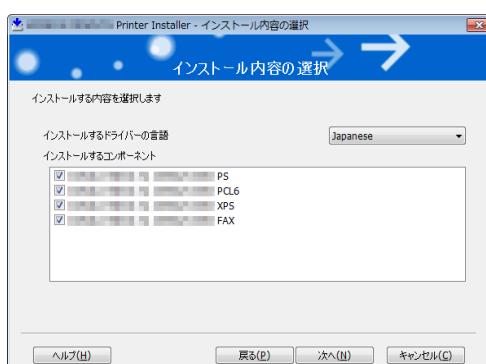
インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は **Driver & Utilities CD-ROM** を使います。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
 - ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。
 - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [プリンター／ファクス] をクリックします。
- 4 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 5 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 6 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
USB 接続されているプリンターが検出されます。
- 7 本機を選び、[次へ] をクリックします。



- 8 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 - 各プリンタードライバーの特長については、2-5 ページをごらんください。



- 9 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

10 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、2-9 ページをごらんください。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、2-9 ページをごらんください。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



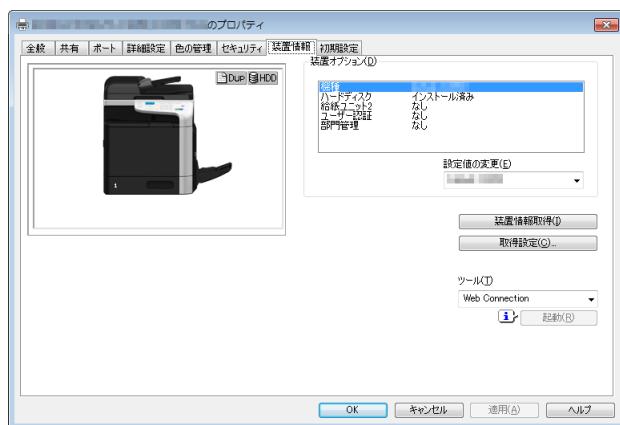
プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、2-16 ページをごらんください。

2.2.3 プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

- 1 プリンタードライバーの【プロパティ】画面を表示します。
→ 【プロパティ】画面の表示のしかたについては、2-52 ページをごらんください。
- 2 【装置情報】タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。
→ Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合、初期設定では、【取得設定...】の【自動取得】が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、【装置オプション】に反映されます。
→ 【取得設定...】の【自動取得】を無効にしている場合は、【装置情報取得】をクリックすると、本機の情報を取得して【装置オプション】に反映します。
→ Windows Server 2003 をお使いの場合は、【装置オプション】から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、【設定値の変更】から設定値を選びます。



- 3 [OK] をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、プリンタードライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

- 1 プリンタードライバーの【印刷設定】画面を表示します。
→ 【印刷設定】画面の表示のしかたについては、2-56 ページをごらんください。
- 2 印刷設定を変更し、[OK] をクリックします。
変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアから印刷するときに適用されます。



プリンタードライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。詳しくは、2-18 ページをごらんください。

2.3 印刷のしかた

2.3.1 印刷の流れ

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態（初期値）に戻ります。印刷設定の初期値を変更する方法については、2-9 ページをごらんください。
→ プリンタードライバーには、よく使う印刷設定を簡単に呼出す機能が用意されています。詳しくは、2-18 ページをごらんください。
- 5 [印刷] をクリックします。
印刷が実行されます。



参考

本機で印刷ジョブを受信すると、メッセージウィンドウに印刷中であることを示すメッセージが表示されます。印刷中に◀を押すと、[プリンターモード] 画面が表示され、印刷中のジョブのステータスを確認できます。

また、[プリンターモード] 画面でストップ / リセットを押すと、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示され、以下のメニューを選択できます。

- [継続]：ジョブを削除せず、印刷を続行します。
- [現在のジョブ]：実行中のジョブを削除します。
- [全てのジョブ]：全てのジョブを削除します。

2.3.2 よく使う印刷設定を簡単に呼出す

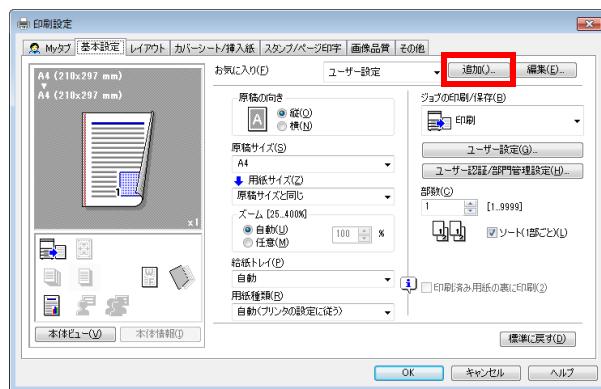
よく使う印刷設定を登録する

現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、印刷するときにその設定を呼出せます。

よく使う印刷設定をお気に入りとして登録しておけば、複数のタブにまたがった複雑な設定でも、お気に入り一覧から選ぶだけで簡単に一括設定できます。

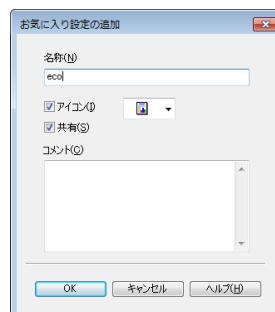
ここではお気に入りの登録のしかたを説明します。

- 1 [印刷設定] 画面で、お気に入りとして登録したい印刷条件を設定します。
- 2 [追加...] をクリックします。
 - 登録済みのお気に入りを編集する場合は、[お気に入り] から編集するお気に入りの名前を選び、[編集] をクリックします。編集画面では、お気に入りを呼出すときに呼出し対象に含める機能を選択したり、お気に入りをインポート／エクスポートしたりできます。



- 3 登録するお気に入りの名前を入力します。

→ 必要に応じて、お気に入りに対してアイコン、コメント、呼出す項目などを指定します。



設定	説明
[名称]	登録するお気に入りの名前を入力します。 呼出すときに、わかりやすい名前をつきます。
[アイコン]	必要に応じて、登録するお気に入りにアイコンを割当てます。
[共有]	登録するお気に入りをほかのユーザーと共有するときはチェックをつけます。
[コメント]	必要に応じて、登録するお気に入りに対するコメントを入力します。 入力したコメントは、お気に入りの一覧から選ぶときにオンマウスすると表示されます。

- 4 [OK] をクリックします。

印刷設定がお気に入りに登録されます。登録した設定は、印刷するときに [お気に入り] から選べます。

設定画面をカスタマイズする

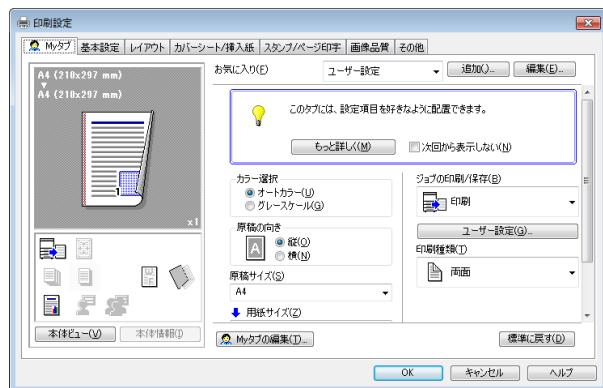
異なるタブに配置されている設定項目を [My タブ] にまとめることができます。

よく使う設定項目を [My タブ] に登録しておけば、タブを切換えずに 1 画面でスムーズに設定変更ができます。

ここでは [My タブ] の編集のしかたを説明します。

1 [My タブ] - [My タブの編集 ...] をクリックします。

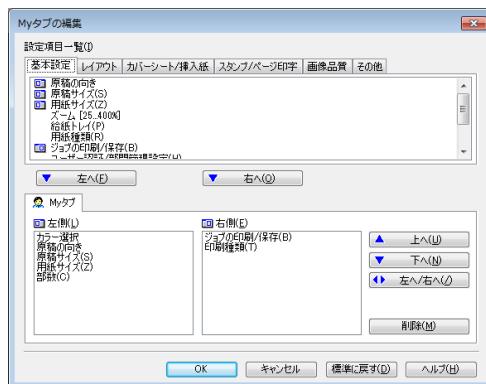
→ 各機能を右クリックして表示される [My タブ] メニューから [左へ] / [右へ] を選んでも、[My タブ] に登録できます。



2 [設定項目一覧] から [My タブ] に登録したい機能を選び、[左へ] または [右へ] をクリックします。

→ [左へ] をクリックすると [My タブ] 画面の左側のエリアに、[右へ] をクリックすると [My タブ] 画面の右側のエリアに配置します。

→ すでに [My タブ] に登録されている機能の前には、アイコンが表示されます。



3 必要に応じて、登録した機能の配置変更や削除をします。

→ 位置を変更する場合は、移動したい機能を選び、[上へ]、[下へ]、[左へ / 右へ] をクリックします。

→ [My タブ] から削除する場合は、削除したい機能を選び、[削除] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

以上で、[My タブ] の編集の完了です。

2.4 便利な印刷機能

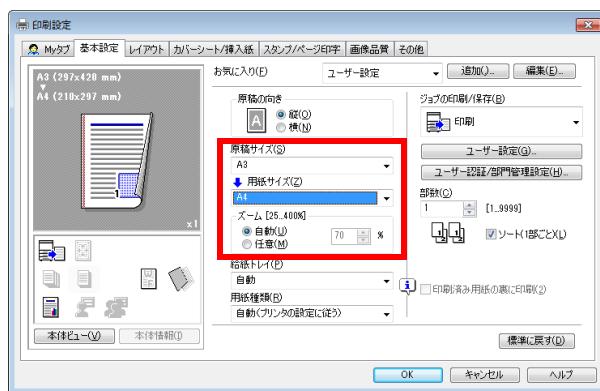
2.4.1 用紙のサイズや種類を変更して印刷する

用紙サイズに合わせて拡大／縮小して印刷する（[用紙サイズ]）

原稿サイズと用紙サイズから自動的に設定される倍率で、拡大または縮小して印刷します。

原稿サイズに対して大きな用紙サイズを選んだときは、用紙サイズに合わせて拡大され、小さな用紙サイズを選んだときは、用紙サイズに合わせて縮小されます。

[基本設定] タブの [用紙サイズ] で、印刷する用紙サイズを選びます。[原稿サイズ] で選ばれている用紙サイズと、[用紙サイズ] で選んだ用紙サイズから、自動的に倍率が設定されます。

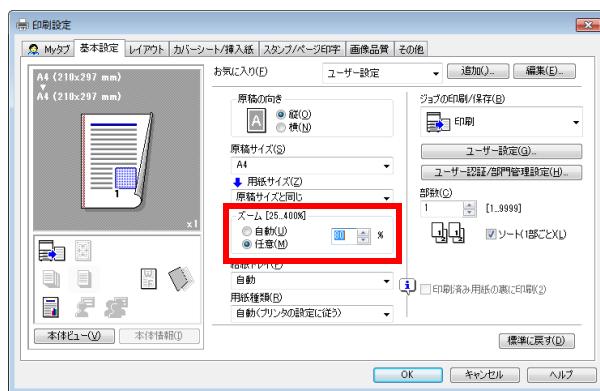


[ズーム] が [自動] に設定されているときに有効です。

任意の倍率で拡大／縮小して印刷する（[ズーム]）

任意の倍率を指定して、原稿画像を拡大または縮小して印刷します。倍率は、25%～400%（1%単位）の間で指定できます。

[基本設定] タブの [ズーム] で、倍率を指定します。



特殊なサイズの用紙に印刷する（[原稿サイズ]）

特殊なサイズの原稿を、手差しトレイまたはトレイ1にセットした不定形サイズの用紙に印刷します。

- 1 [基本設定] タブの [原稿サイズ] で [不定形サイズ] を選びます。
→ [用紙サイズ] は [原稿サイズと同じ] を選びます。
- 2 任意の幅と長さを指定し、[OK] をクリックします。

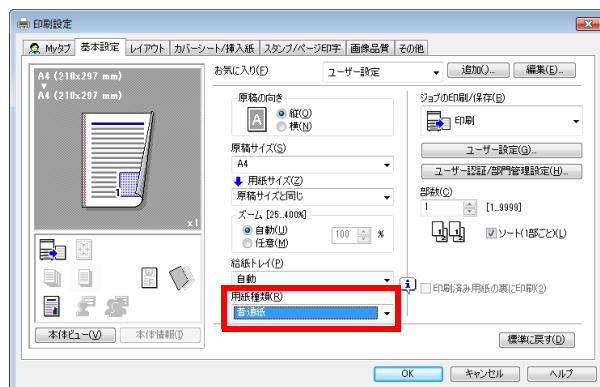


不定形サイズの用紙は、手差しトレイまたはトレイ1にセットします。手差しトレイまたはトレイ1への用紙のセットのしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイドはじめにお読みください]の6章「用紙をセットする」をごらんください。

PCL ドライバーをお使いの場合は、[初期設定] タブで、あらかじめ不定形サイズの用紙を登録できます。[初期設定] タブについて詳しくは、2-55 ページをごらんください。

用紙の種類を指定して印刷する（[用紙種類]）

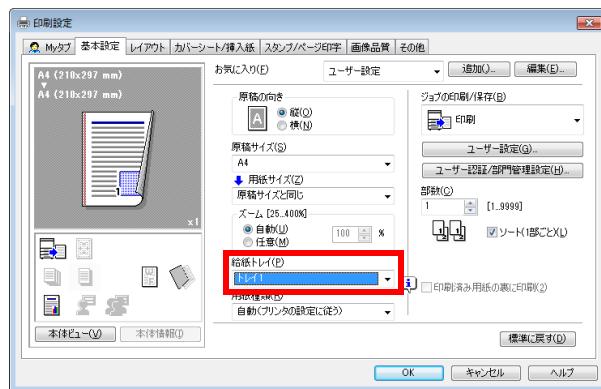
[基本設定] タブの [用紙種類] で、印刷する用紙の種類を選びます。



本機の [レターヘッド両面印刷] が [禁止]（初期値）に設定されている場合、[用紙種類] で [レターヘッド紙] を選択して両面印刷を実行しても、片面に印刷されます。

給紙トレイを指定して印刷する（[給紙トレイ]）

[基本設定] タブの [給紙トレイ] で、印刷する用紙の給紙トレイを選びます。



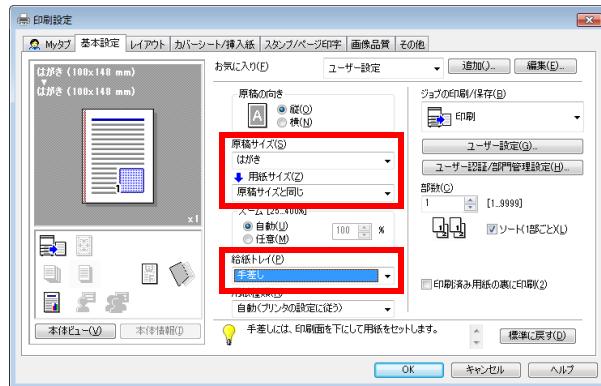
[自動] を選ぶと、[用紙サイズ] で選んだ用紙の給紙トレイが自動的に選ばれます。

はがきに印刷する

原稿を手差しトレイまたはトレイ 1 にセットしたはがきに印刷します。

1 [基本設定] タブで次の設定をします。

- [原稿サイズ] : [はがき] を選びます。
- [用紙サイズ] : [原稿サイズと同じ] を選びます。
- [給紙トレイ] : [手差し] または [トレイ 1] を選びます。



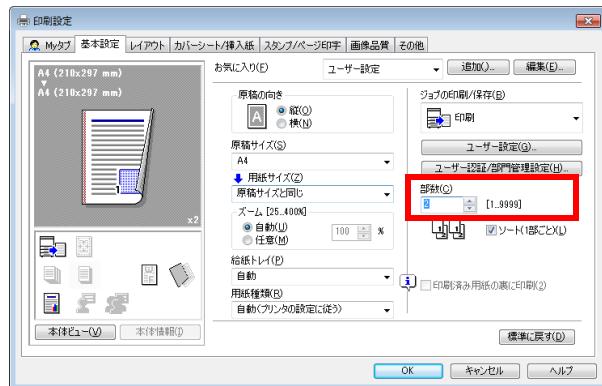
2 印刷を実行します。

- はがきのセットのしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド はじめにお読みください] の 6 章「用紙をセットする」をごらんください。

2.4.2 複数の部数を印刷する

印刷部数を指定する（[部数]）

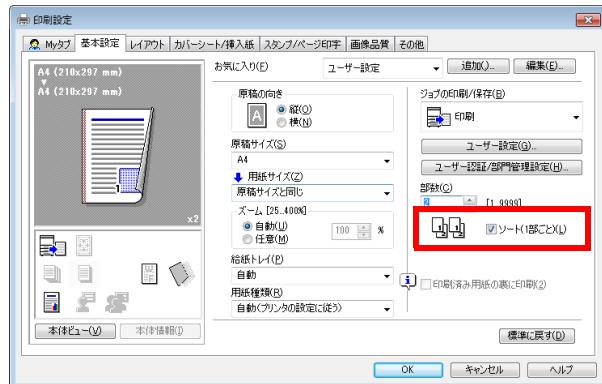
[基本設定] タブの [部数] で、印刷する部数を指定します。



大量的部数を印刷するときは、試し印刷機能を使うと大量のミスプリントを防ぎ、無駄な用紙の使用を抑えられます。詳しくは、2-44 ページをごらんください。

部単位で印刷する（[ソート（1部ごと）]）

[基本設定] タブの [ソート（1部ごと）] にチェックをつけると、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙します。



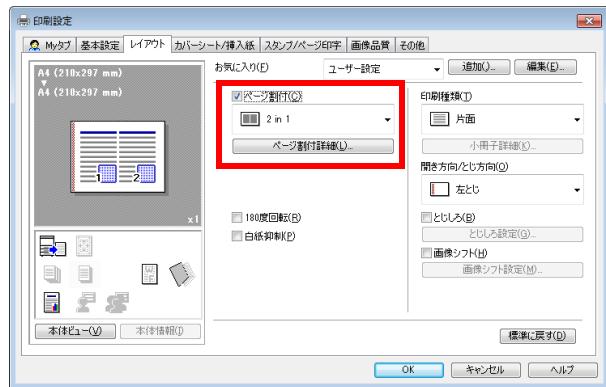
オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

2.4.3 印刷枚数を節約する

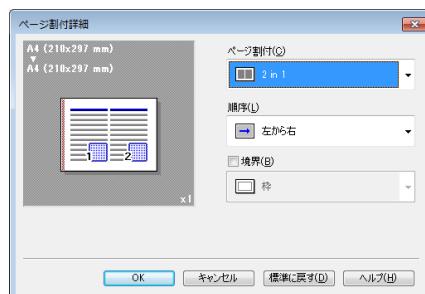
複数のページを1枚の用紙の同じ面に印刷する（[ページ割付]）

複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷し、用紙の使用量を節約できます。

[レイアウト] タブの [ページ割付] で「N in 1」を選びます。たとえば、[9 in 1] を選ぶと、9ページ分を1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。



必要に応じて、[ページ割付詳細...] をクリックし、ページの配置順序と、ページ間に境界線を入れるかどうかを設定します。

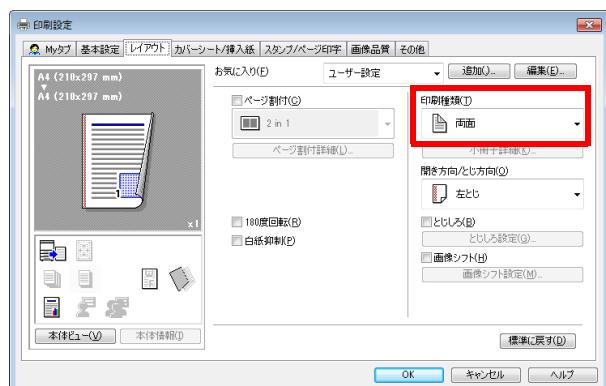


設定	説明
[順序]	ページ配置の順序を選びます。
[境界]	ページ間に境界線を入れる場合は、チェックをつけます。あわせて、境界線の種類を、[枠] または [線] から選びます。

用紙の両面に印刷する（[両面]）

用紙の両面に印刷して、用紙の使用量を半分に節約できます。

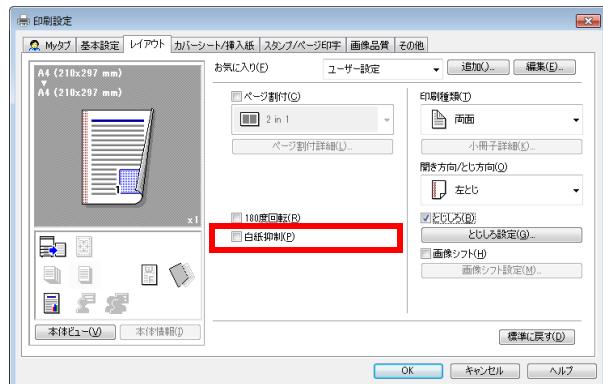
[レイアウト] タブの [印刷種類] で [両面] を選びます。初期値は [両面] です。



白紙ページを印刷しない（[白紙抑制]）

原稿に白紙ページが含まれている場合に、白紙ページを印刷対象から除外します。印刷枚数を節約できます。

[レイアウト] タブの [白紙抑制] にチェックをつけます。

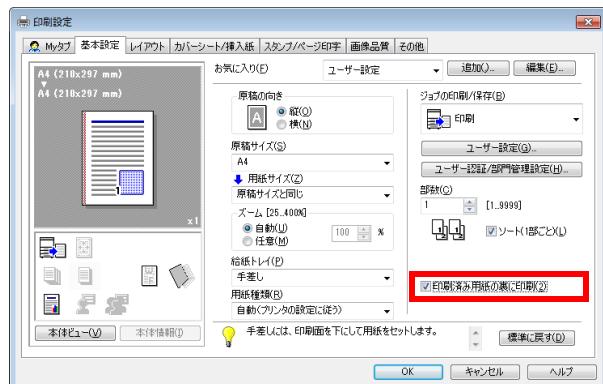


参考

- 原稿によっては、白紙ページも印刷される場合があります。
- この機能は、Windows のプリンタードライバー（PCL/XPS）のみ利用できます。

印刷済みの用紙の裏面に印刷する（[印刷済み用紙の裏に印刷]）

[基本設定] タブの [印刷済み用紙の裏に印刷] にチェックをつけます。



参考

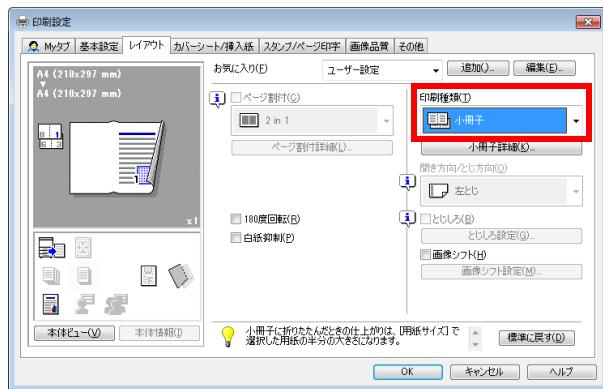
[印刷済み用紙の裏に印刷] を設定して印刷する場合は、本機で印刷した用紙の裏面をお使いください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

2.4.4 レイアウトを調整して印刷する

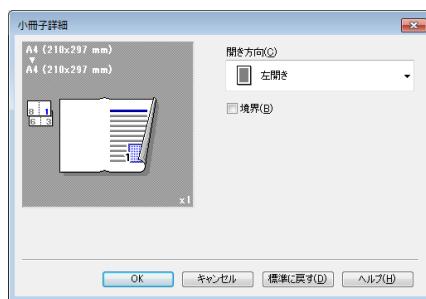
小冊子のように印刷する（[小冊子]）

小冊子の形態になるように、原稿データの順番を並替え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて2つ折りにすると、本のようなページ順になります。

[レイアウト] タブの [印刷種類] で [小冊子] を選びます。



必要に応じて、[小冊子詳細...] をクリックし、開き方向と、ページ間に境界線を入れるかどうかを設定します。

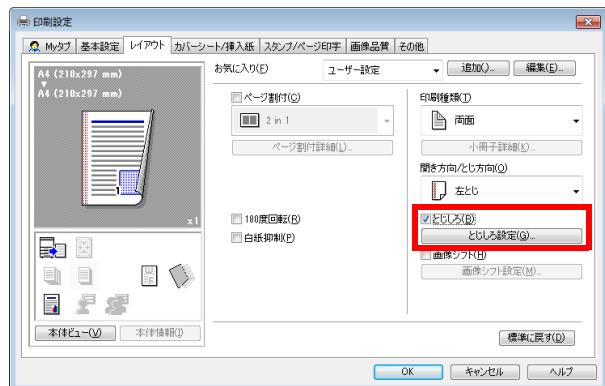


設定	説明
[開き方向]	小冊子にしたときの開き方向を選びます。
[境界]	ページ間に境界線を入れる場合は、チェックをつけます。

用紙にとじしろを作る ([とじしろ])

印刷した用紙をとじるためのとじしろ（余白）を作ります。

- 1 [レイアウト] タブの [とじしろ] にチェックをつけます。
→ とじしろを作る位置は、[レイアウト] タブの [開き方向 / とじ方向] で指定します。



- 2 [とじしろ設定 ...] をクリックします。
- 3 とじしろ（余白）の量を調整し、[OK] をクリックします。



設定	説明
[シフトモード]	とじしろを作るときの、画像のずらし方を選びます。
[表面] / [裏面]	表面のとじしろ量を指定します。 両面印刷する場合は、裏面のとじしろ量を指定します。[表面と裏面を同じ値にする] にチェックをつけると、表と裏で同じだけとじしろを作ります。

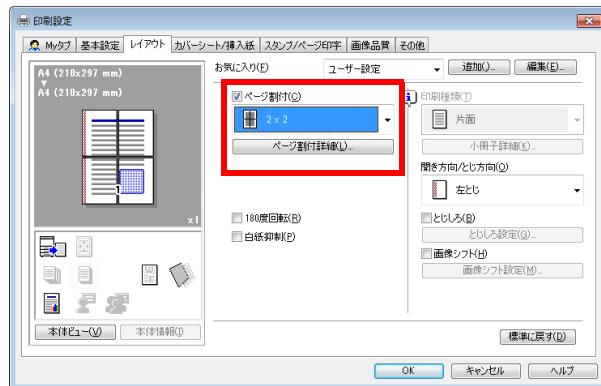


この機能は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

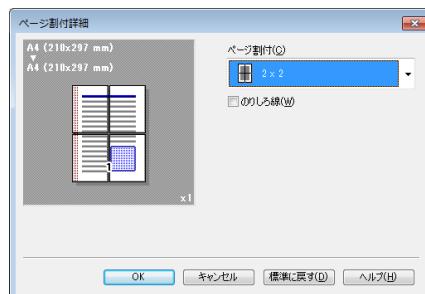
ポスターのように大きく印刷する（[ページ割付]）

原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙をつなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上がります。

[レイアウト] タブの [ページ割付] で「N × N」を選びます。たとえば、[2 × 2] を選ぶと、1 ページの原稿画像を拡大し、4 枚の用紙に分割して印刷します。



必要に応じて、[ページ割付詳細 ...] をクリックし、のりしろを作るかどうかを選びます。

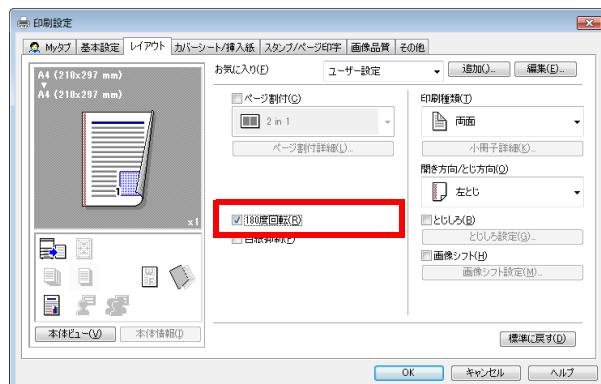


この機能は、PCL ドライバーのみ利用できます。

180 度回転して印刷する（[180 度回転]）

印刷画像の天地が逆になるように印刷します。封筒などのセット方向が変えられない用紙に印刷するときに使います。

[レイアウト] タブの [180 度回転] にチェックをつけます。

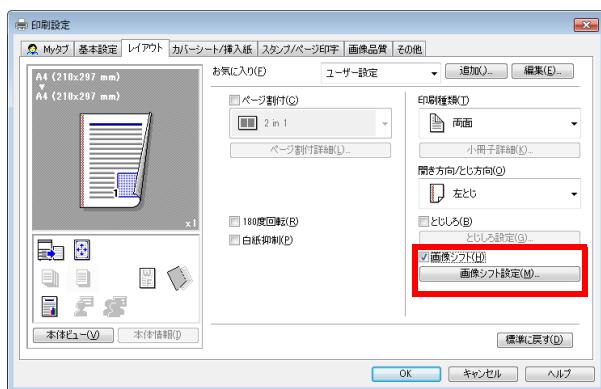


印刷位置を微調整する（[画像シフト]）

用紙に対する画像の印刷位置を、上下左右にずらして細かく調整します。両面印刷するときは、裏面の画像の位置も調整できます。

印刷位置を少しだけ調整したい、印刷位置を表裏で変えたいなど、微調整が必要なときに使います。

- 1 [レイアウト] タブの [画像シフト] にチェックをつけます。



- 2 [画像シフト設定 ...] をクリックします。
- 3 上下左右のシフト量を調整し、[OK] をクリックします。



 **参考**
この機能は、PCL ドライバーのみ利用できます。

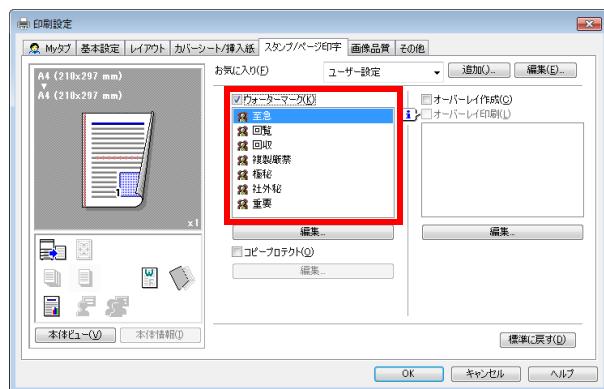
2.4.5 原稿に文字や画像を追加する

ウォーターマークを追加する ([ウォーターマーク])

すべてのページの中央に、「複製厳禁」や「社外秘」などの文字を淡い色で印字します。

ウォーターマークを印字することにより、印刷物の取扱いを示すことができます。

[スタンプ / ページ印字] タブの [ウォーターマーク] にチェックをつけます。あわせて、印字するウォーターマークを選びます。

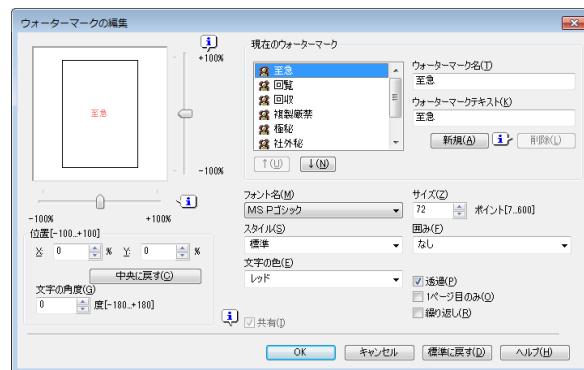


この機能は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

ウォーターマークの登録／編集をする

本機にはあらかじめいくつかのウォーターマークが登録されていますが、必要に応じて、ウォーターマークを新しく登録したり、登録されているウォーターマークを編集したりできます。

- [スタンプ / ページ印字] タブで [ウォーターマーク] をチェックし、[編集] をクリックします。
- [新規] をクリックし、ウォーターマークの内容を登録します。
 - 登録済みのウォーターマークを編集するときは、[現在のウォーターマーク] の一覧から編集するウォーターマークを選び、登録内容を変更します。
 - 登録済みのウォーターマークを削除するときは、[現在のウォーターマーク] の一覧から削除するウォーターマークを選び、[削除] をクリックします。



設定	説明
[ウォーターマーク名]	ウォーターマークの一覧に表示する名前を入力します (30 文字以内)。
[ウォーターマークテキスト]	ウォーターマークとして印字する文字列を入力します (30 文字以内)。

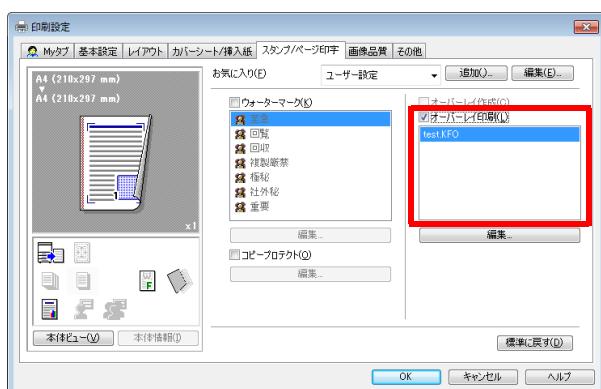
設定	説明
[↑] / [↓]	一覧に表示する順番を入替えます。よく使うウォーターマークを上に移動できます。
[位置]	ウォーターマークを印字する位置を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> [X] / [Y] : ウォーターマークの横方向と縦方向の位置を調整します。値はスライドバーと連動します。 [中央に戻す] : ウォーターマークの位置を中央に戻すときにクリックします。 [文字の角度] : ウォーターマークの角度を調整します。
[フォント名]	ウォーターマークのフォントを選びます。
[サイズ]	ウォーターマークのフォントサイズを指定します。
[スタイル]	ウォーターマークのフォントのスタイルを選びます。
[囲み]	ウォーターマークの囲み方を選びます。
[文字の色]	ウォーターマークの色を選びます。
[透過]	原稿にウォーターマークを透かして印字するときにチェックをつけます。チェックをはずして印刷すると、ウォーターマークと重なった部分が見えなくなります。
[1ページ目のみ]	ウォーターマークを原稿の1ページ目だけに印字するときにチェックをつけます。
[繰り返し]	ウォーターマークを1ページの中で繰り返し印字するときにチェックをつけます。
[共有]	ウォーターマークをほかのユーザーと共有するときにチェックをつけます。

3 [OK] をクリックします。

オーバーレイ画像を合成する（[オーバーレイ印刷]）

コンピューターに登録されているオーバーレイ画像を呼び出し、原稿に合成して印刷します。コンピューターにオーバーレイ画像を登録する方法について詳しくは、2-33ページをごらんください。

[スタンプ / ページ印字] タブの [オーバーレイ印刷] にチェックをつけ、原稿に合成するオーバーレイ画像を一覧から選びます。



必要に応じて、[編集...] をクリックし、オーバーレイ画像の追加や削除をします。また、オーバーレイ画像の合成方法を変更します。

PCL/XPS ドライバーをお使いの場合：

設定	説明
[オーバーレイの選択]	オーバーレイ画像の追加や削除をします。
[ファイル参照 ...]	オーバーレイ画像を一覧に追加します。
[削除]	選んだオーバーレイ画像を一覧から削除します。
[ファイル情報]	選んだオーバーレイ画像の情報を表示します。

設定	説明
[オーバーレイの印刷方法]	必要に応じて、オーバーレイ画像の合成方法を変更します。
[印字ページ]	オーバーレイ画像を合成するページの範囲を選びます。
[重ね合わせ]	オーバーレイ画像を原稿の前面に上書きして合成するか、原稿の背面に合成するかを選びます。

PS ドライバーをお使いの場合 :

設定	説明
[オーバーレイの選択]	オーバーレイ画像の追加や削除をします。
[フォームファイルの管理 ...]	オーバーレイ画像を管理します。
[削除]	選んだオーバーレイ画像を一覧から削除します。
[プリンターにダウンロード ...]	オーバーレイ画像をプリンターにダウンロードします。 Download Manager をインストールし、オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[オーバーレイの印刷方法]	必要に応じて、オーバーレイ画像の合成方法を変更します。
[印字ページ]	オーバーレイ画像を合成するページの範囲を選びます。



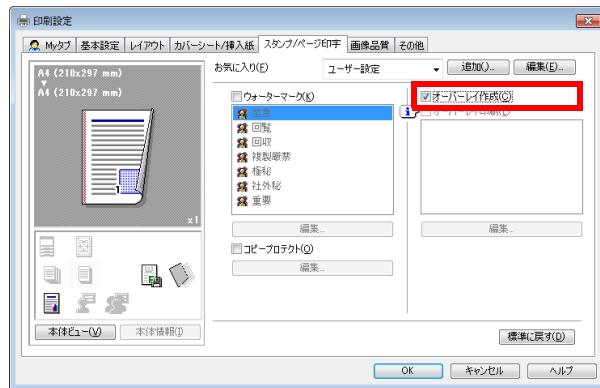
参考

- この機能は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。
- PS ドライバーをお使いの場合は、あらかじめ本機にオーバーレイ画像をダウンロードしておく必要があります。

コンピューターにオーバーレイ画像を作成する

[スタンプ / ページ印字] タブの [オーバーレイ作成] にチェックをつけ、オーバーレイ画像として登録したいデータの印刷を行うことで、コンピューターにオーバーレイファイルを生成します。

- 1 アプリケーションソフトウェアでオーバーレイに登録する原稿を作成します。
- 2 [スタンプ / ページ印字] タブの [オーバーレイ作成] にチェックをつけます。



- 3 アプリケーションソフトウェアから印刷を実行します。
[オーバーレイファイルの作成] 画面が表示されます。
- 4 ファイル名を入力して保存します。
オーバーレイファイルがコンピューターに保存されます。保存されたオーバーレイファイルは、[スタンプ / ページ印字] タブに表示され、オーバーレイ印刷で利用できます。



参考

この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL/XPS) のみ利用できます。

2.4.6 不正コピーを抑止する

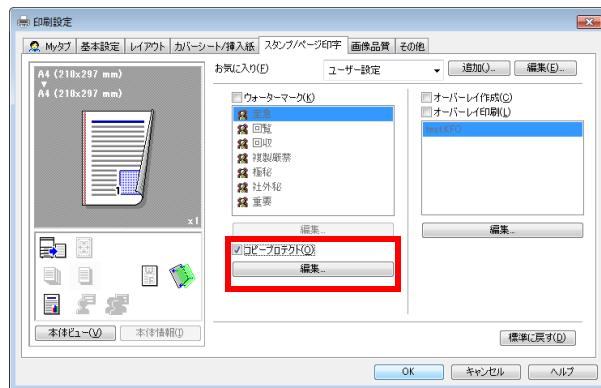
隠し文字を印字する ([コピープロテクト])

すべてのページに、「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字します。この機能を、コピープロテクトと呼びます。

コピープロテクトされた用紙をコピーすると、隠し文字が用紙全体に浮出するため、コピーであることがわかります。

[スタンプ / ページ印字] タブの [コピープロテクト] にチェックをつけます。

必要に応じて、[編集 ...] をクリックし、印字する内容や印字のしかたを指定します。詳しくは、2-34 ページをごらんください。



参考

この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。

コピープロテクトの印字設定をする

用紙にコピープロテクトのパターンを印字するときに、必要に応じて、印字する内容や印字のしかたを設定できます。

[スタンプ / ページ印字] タブの [コピープロテクト] にチェックをつけ、[編集 ...] をクリックします。

設定	説明
[不正コピー時の効果]	原稿が不正コピーされたときに、文字パターンが浮出るようにするか、白抜きされるようにするかを選びます。
[重ね合わせ]	コピープロテクトパターンを原稿の前面に合成するか、原稿の背面に合成するかを選びます。
[背景パターン]	コピープロテクトパターンを、本機に登録されている背景のパターンから選びます。
[文字と背景の色]	コピープロテクトパターンの色を選びます。
[文字列]	印字する文字を選びます。 [カスタム] を選ぶと、任意の文字を指定できます。
[フォント名]	印字する文字のフォントを選びます。
[文字サイズ]	印字する文字のサイズを選びます。

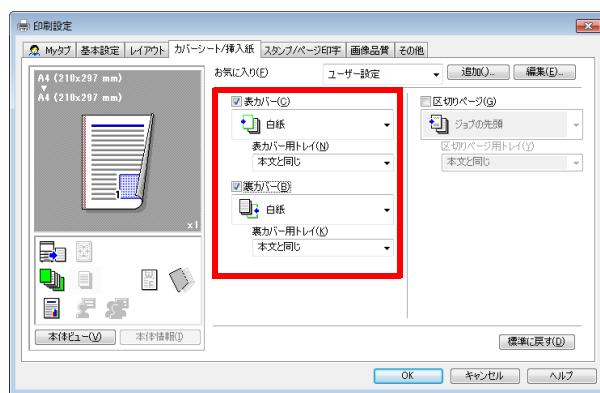
2.4.7 原稿に用紙を挿入して印刷する

表紙や裏表紙を挿入する ([表カバー] / [裏カバー])

原稿の最初と最後のページに、表紙として本文と異なる用紙を挿入します。

表紙用の用紙は、本文用とは別の用紙（色紙や厚紙など）を選べ、表紙と本文を別々に印刷することなく、一度に印刷できます。

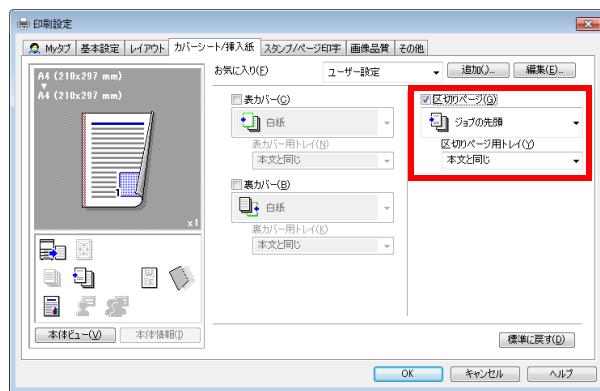
- 1 [基本設定] タブの [給紙トレイ] で、本文ページを印刷する用紙の給紙トレイを選びます。
- 2 [カバーシート / 挿入紙] タブの [表カバー] または [裏カバー] にチェックをつけます。
 - 必要に応じて、挿入した用紙に原稿を印刷するか、印刷せずに白紙とするかを選べます。PS ドライバーをお使いの場合は、挿入した用紙に原稿を印刷することはできません。
 - [表カバー用トレイ] または [裏カバー用トレイ] で、表紙や裏表紙として挿入する用紙の給紙トレイを選びます。



区切りページを挿入する ([区切りページ])

1 ジョブまたは1部ごとに区切りページとして本文と異なる用紙を挿入します。

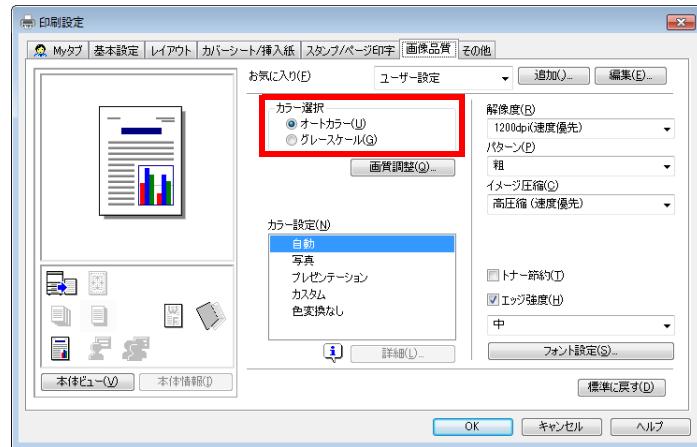
- 1 [基本設定] タブの [給紙トレイ] で、本文ページを印刷する用紙の給紙トレイを選びます。
- 2 [カバーシート / 挿入紙] タブの [区切りページ] にチェックをつけ、区切りページを挿入する位置を選びます。
 - [区切りページ用トレイ] で、区切りページとして挿入する用紙の給紙トレイを選びます。



2.4.8 カラーや画質を指定して印刷する

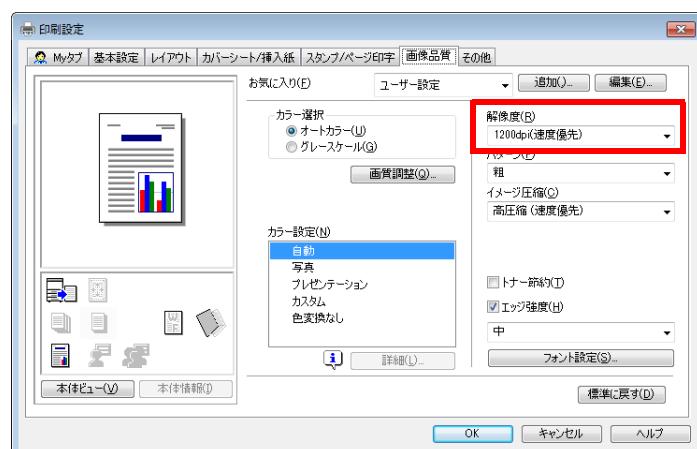
印刷の色を選ぶ（[カラー選択]）

[画像品質] タブの [カラー選択] で、印刷する色をカラーまたはグレースケールから選びます。



印刷の解像度を指定する（[解像度]）

[画像品質] タブの [解像度] で、印刷の解像度を選びます。

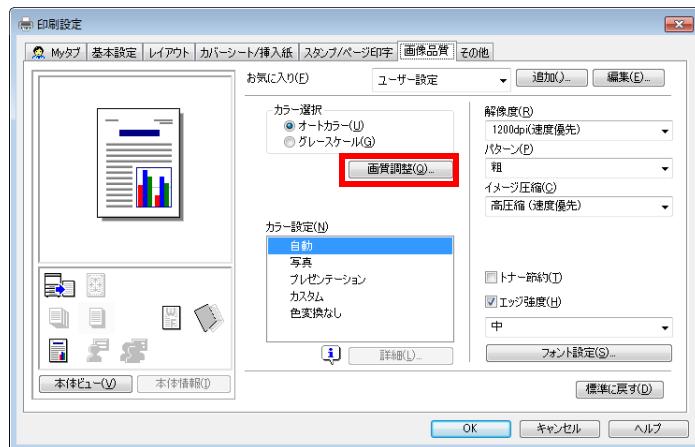


この機能は、PCL/PS ドライバーのみ利用できます。

原稿に合わせて画質を微調整する（[画質調整]）

原稿に合わせて、画質を鮮やかにしたり色差を抑えたりなど、カラー画質を細かく調整できます。

- [画像品質] タブの [画質調整] をクリックします。



- 原稿に合わせて、明度、コントラストを調整します。

→ PS/XPS ドライバーをお使いの場合は、明度のみ調整できます。



- [OK] をクリックします。

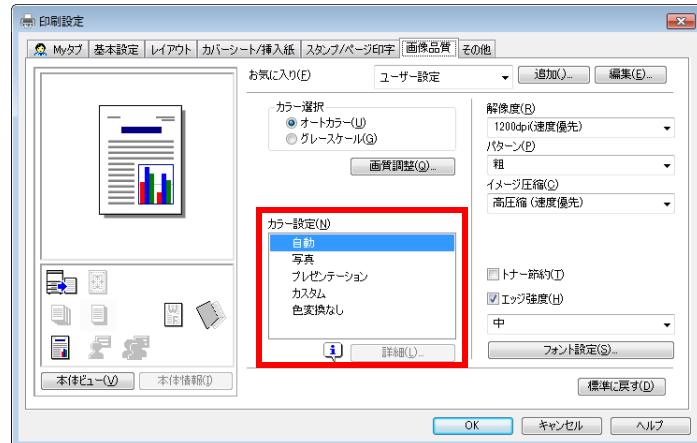


この機能は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。

原稿に適したカラー表現を選択 ([カラー設定])

写真やプレゼンテーション資料など、原稿の内容に適した設定を選んで、最適な画質で印刷します。

[画像品質] タブの [カラー設定] で、原稿に合わせて、カラー設定のモードを選びます。



原稿内のオブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィックス）ごとにカラー表現方法を細かく設定することもできます。

- 1 [カラー設定] で [カスタム] を選び、[詳細 ...] をクリックします。
- 2 イメージ、テキスト、グラフィックスのカテゴリーごとに、印刷に使用する RGB カラーや出力プロファイルなどを指定します。

設定	説明
[イメージ] [テキスト] [グラフィックス]	イメージ、テキスト、グラフィックスのカテゴリーごとにカラー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> [RGB カラー] : プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。 [RGB 色変換] : プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。 [RGB グレー再現] : プリンターで処理する黒、グレーの印刷方法を指定します。 [出力プロファイル] : プリンターが使用する出力プロファイルを指定します (PS/XPS のみ)。 [スクリーン] : プリンターが使用するスクリーン特性を指定します。 [エッジ強調] : エッジ部分を強調するかどうかを指定します。
[シミュレーション] (PS のみ)	シミュレーションに関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [シミュレーションプロファイル] : 本機が使用する入力 CMYK のシミュレーションプロファイルを選びます。 [用紙下地色にあわせる] : シミュレーションを実施するときに用紙の下地色にあわせて印刷するかどうかを選びます。 [CMYK グレー再現] : シミュレーションを実施するときの CMYK 入力データにおける K 版の印刷方法を指定します。

- 3 [OK] をクリックします。

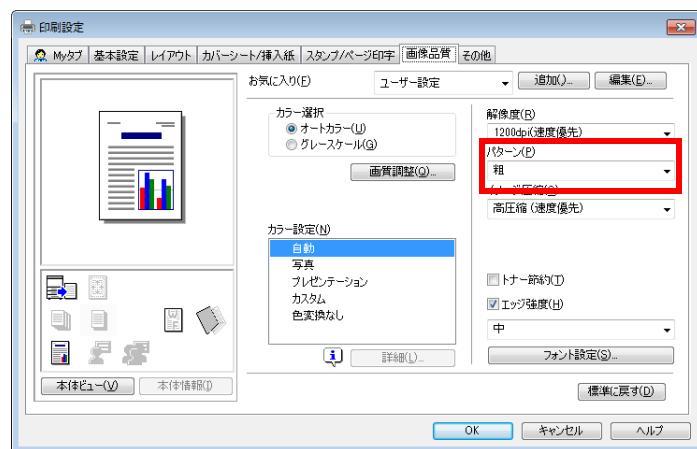
参考

PS ドライバーをお使いの場合、手順 2 の画面で次のことができます。

- [プリンターにダウンロード] : Download Manager を起動し、本機にプロファイルやフォント、オーバーレイファイルをダウンロードできます。オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- [プロファイルの管理] : 各種プロファイルの追加、削除などができます。

グラフィックパターンの密度を指定する ([パターン])

[画像品質] タブの [パターン] で、グラフィックパターンの密度を選びます。

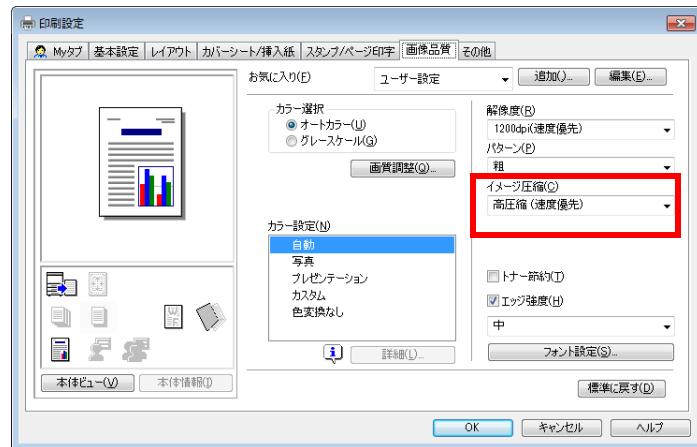


参考

この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL/XPS) のみ利用できます。

グラフィックイメージの圧縮率を指定する ([イメージ圧縮])

[画像品質] タブの [イメージ圧縮] で、原稿に含まれるイメージデータを圧縮するときに品質を優先するか、印刷速度を優先するかを選びます。

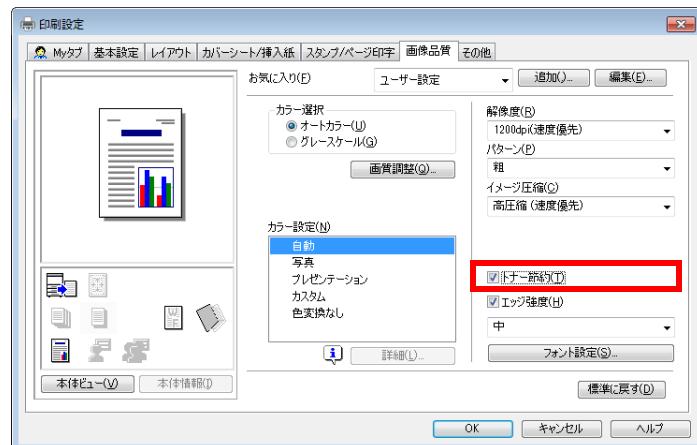


参考

- この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL) のみ利用できます。
- この機能は、[カラー選択] で [オートカラー] を選んだ場合に設定できます。

トナー消費量を節約する ([トナー節約])

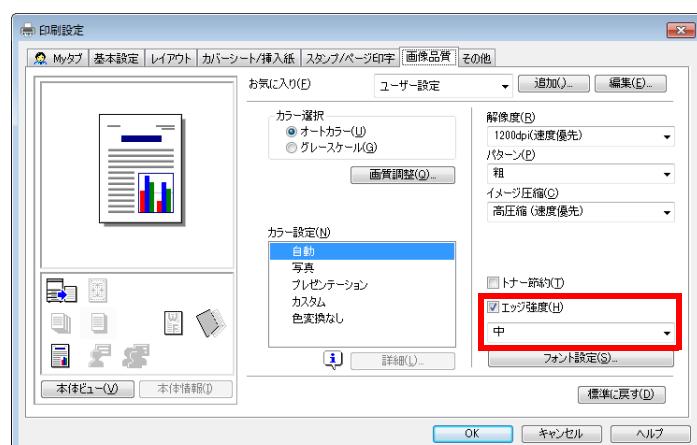
[画像品質] タブの [トナー節約] にチェックをつけると、印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。



文字などの境界をくっきりさせる ([エッジ強度])

表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。

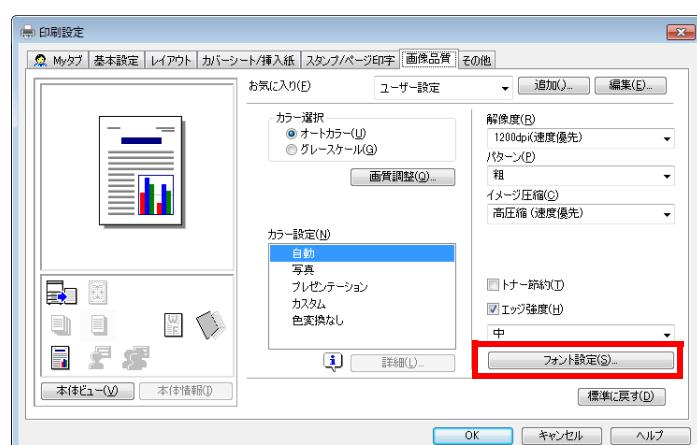
[画像品質] タブの [エッジ強度] にチェックをつけ、強調する度合いを選びます。



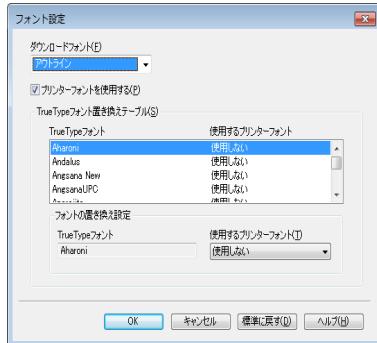
フォントの処理方法を指定する ([フォント設定])

印刷するときの、フォントの処理方法を指定します。

- [画像品質] タブの [フォント設定] をクリックします。



2 印刷するときの、フォントの処理方法を変更します。



設定	説明
[ダウンロードフォント]	コンピューターから本機にダウンロードするフォントのタイプを選びます。
[プリンターフォントを使用する]	TrueType フォントをプリンターフォントに置換えて印刷するときにチェックをつけます。プリンターフォントに置換えることで高速に印刷できます。通常は、チェックをつけて印刷することをおすすめします。
[TrueType フォント置き換えテーブル] (PCL のみ)	TrueType フォントを置換えるプリンターフォントを指定したい場合に設定します。 一覧から TrueType フォントを選んでから、[使用するプリンターフォント] で、置換たいプリンターフォントを選びます。

3 [OK] をクリックします。



参考

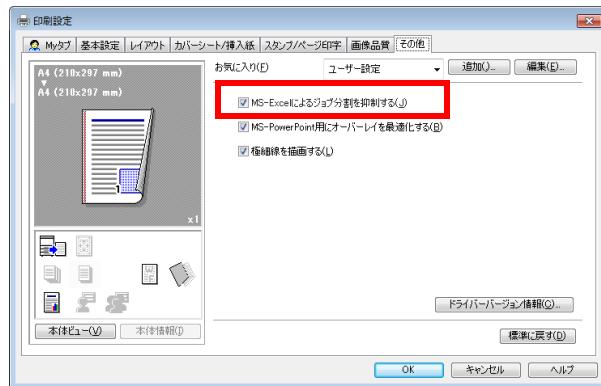
- PCL ドライバーをお使いの場合に文字化けが発生するときは、[ダウンロードフォント] で [ビットマップ] を選び、[プリンターフォントを使用する] のチェックをはずすことをおすすめします。
- この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL/PS) のみ利用できます。

2.4.9 MS-Excel/PowerPoint のデータを印刷する

Excel の複数のシートを同時に印刷する

Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷するとき、シートごとに分割されて印刷されるのを抑止します。

[その他] タブの [MS-Excel によるジョブ分割を抑制する] にチェックをつけます。



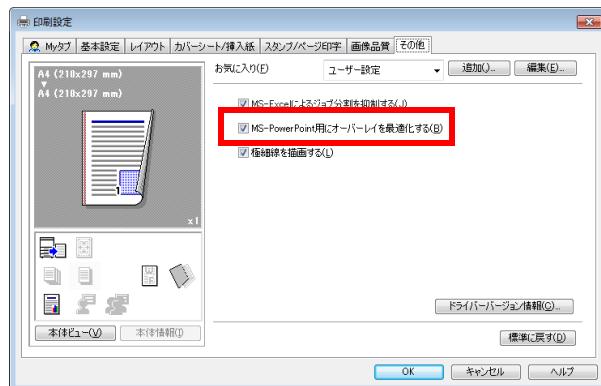
参考

この機能は、Windows のプリンタードライバーのみ利用できます。ただし、特定の環境、アプリケーションソフトウェアによっては利用できない場合があります。

PowerPoint で正しく画像合成して印刷する

背景が白の PowerPoint 原稿にオーバーレイ画像を重ね合わせるときの処理を最適化します。PowerPoint 原稿の白でオーバーレイ画像が上書きされないようにします。

[その他] タブの [MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する] にチェックをつけます。



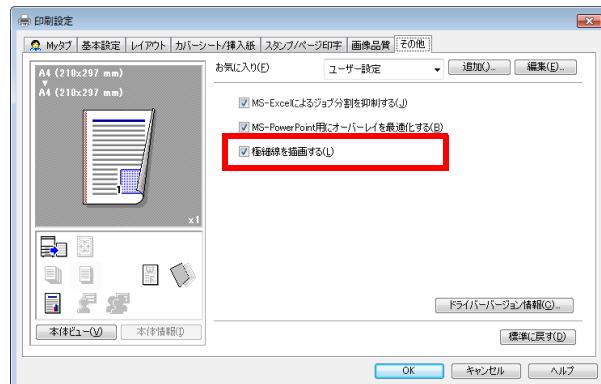
参考

この機能は、Windows のプリンタードライバー (PCL/XPS) のみ利用できます。ただし、特定の環境、アプリケーションソフトウェアによっては利用できない場合があります。

細い線がかすれないように印刷する（[極細線を描画する]）

縮小印刷したときに、細い線が消えるのを抑止します。

[その他] タブの [極細線を描画する] にチェックをつけます。



参考

- Excel で作成した表罫線のような細線に対して効果がありますが、イラストなどの細線には効果がありません。
- この機能は、Windows のプリンタードライバー（PCL）のみ利用できます。

2.5 こんな印刷のしかたがあります

2.5.1 1部だけお試し印刷する（[試し印刷]）

試し印刷について

試し印刷は、複数の部数を印刷するときに、1部だけ印刷して残り部数の印刷を待機する機能です。

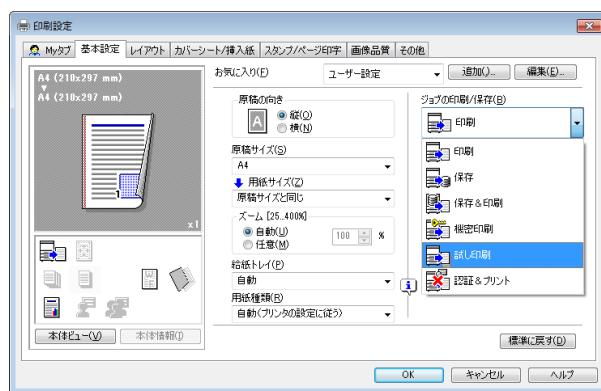
印刷結果を確認してから、**操作パネル**で残り部数の印刷を指示できるので、大量のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [基本設定] タブの [ジョブの印刷 / 保存] で [試し印刷] を選びます。



- 2 部数を指定して印刷を実行します。

1部だけが印刷されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

- 1 メイン画面（コピー mode）で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、選択を押します。
- 2 [プリント文書] を選び、選択を押します。
- 3 ユーザー名を選び、選択を押します。
- 4 ジョブ名を選び、選択を押します。
→ ジョブ名を選び、ストップ / リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。
- 5 必要に応じて印刷部数を変更してから選択を押し、印刷を開始します。

2.5.2 機密性の高い文書を印刷する（[機密印刷]）

機密印刷について

機密印刷は、印刷データにパスワードをつけて、本機のハードディスクに保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

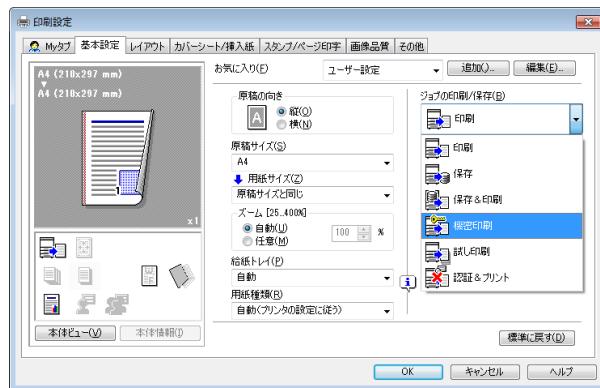
ハードディスクから印刷するには、パスワードを入力する必要があるため、特に機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。



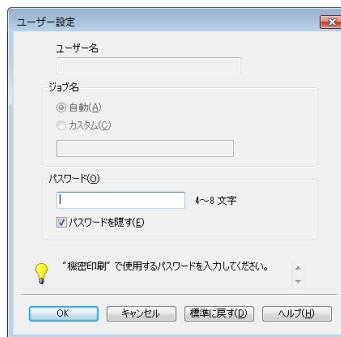
オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [基本設定] タブの [ジョブの印刷 / 保存] で [機密印刷] を選びます。



- 2 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- 3 印刷を実行します。

印刷データが本機のハードディスクに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

保存されたデータを印刷するには、プリンタードライバーで指定したパスワードの入力が必要です。

- 1 メイン画面（コピー mode）で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、選択を押します。
- 2 [プリント文書] を選び、選択を押します。
- 3 ユーザー名を選び、選択を押します。
- 4 ジョブ名を選び、選択を押します。
→ ジョブ名を選び、ストップ / リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。
- 5 パスワードを入力します。
- 6 必要に応じて印刷部数を変更してから選択を押し、印刷を開始します。

2.5.3 原稿を本機のハードディスクに保存する ([保存] / [保存 & 印刷])

保存について

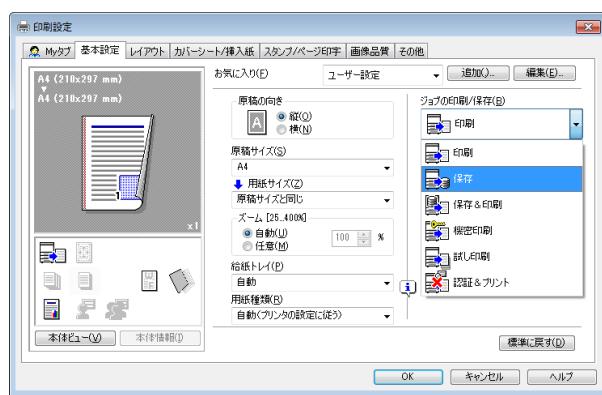
保存機能は、印刷データを本機のハードディスクに保存する機能です。保存 & 印刷機能を使えば、ハードディスクに保存すると同時に印刷することもできます。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [基本設定] タブの [ジョブの印刷 / 保存] で [保存] を選びます。
→ ハードディスクに保存すると同時に印刷したいときは、[保存 & 印刷] を選びます。



- 2 印刷を実行します。
印刷データが本機のハードディスクに保存されます。

保存したデータの活用

- 1 メイン画面 (コピー mode) で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、選択を押します。
- 2 [プリント文書] を選び、選択を押します。
- 3 ユーザー名を選び、選択を押します。
- 4 ジョブ名を選び、選択を押します。
→ ジョブ名を選び、ストップ / リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。
- 5 必要に応じて印刷部数を変更してから選択を押し、印刷を開始します。

2.5.4 認証情報をつけて印刷する

認証設定時の印刷について

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で印刷する場合は、印刷するときに認証情報（ユーザー名とパスワード）を本機へ送る必要があります。これにより、本機で印刷できるユーザーを限定し、第三者の不正利用を防ぎます。

印刷が許可されていないユーザーの印刷ジョブや、認証情報のない印刷ジョブを本機が受信すると、自動的に破棄します。

参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- 認証情報のない印刷ジョブとは、本機でユーザー認証／部門管理を設定しているにも関わらず、プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を正しく設定せずに送信した印刷ジョブのことです。ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていない状態とは、プリンタードライバーの【プロパティ】画面の【装置情報】タブで、【取得設定...】の【自動取得】のチェックがはずれていて、【装置オプション】の【ユーザー認証】／【部門管理】が【なし】に設定されている状態を指します。この状態で、印刷時に【基本設定】タブの【ジョブの印刷／保存】で【印刷】を選んで印刷を実行すると、認証情報のない印刷ジョブとして扱われます。
- Web Connection の【セキュリティ】 - 【認証 & プリント設定】で【認証 & プリント】が【有効】に設定されている場合、通常の印刷ジョブが、認証 & プリントジョブとして扱われます（初期値：【無効】）。認証 & プリント機能について詳しくは、2-50 ページをごらんください。

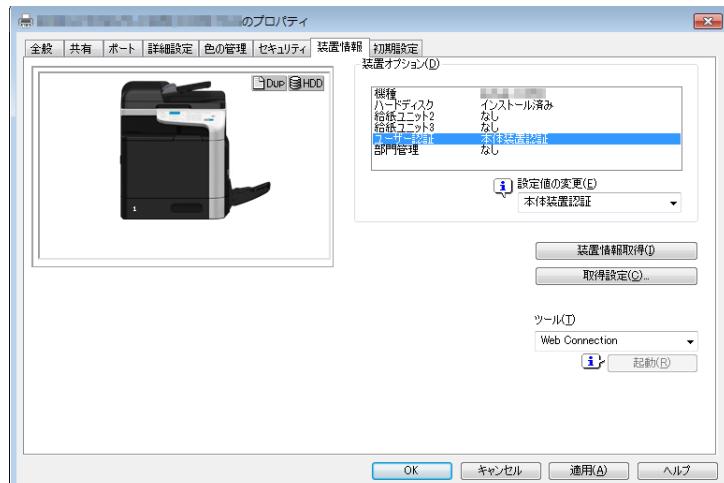
参照

ユーザー認証を導入している環境で機密性の高い文書を印刷するときは、認証 & プリント機能を使うと、セキュリティの高い印刷ができます。詳しくは、2-50 ページをごらんください。

お使いになるために必要な作業

プリンタードライバーの【装置情報】タブで、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。

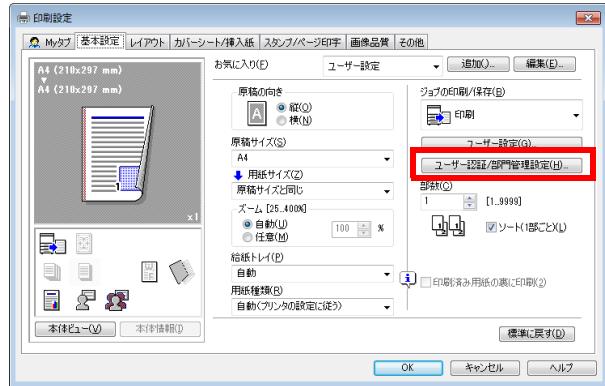
- 1 プリンタードライバーの【プロパティ】画面を表示します。
→ 【プロパティ】画面の表示のしかたについては、2-52 ページをごらんください。
- 2 【装置情報】タブの【装置オプション】で、お使いの環境に合わせて、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。
→ 正しく設定されていない場合は、一覧から【ユーザー認証】または【部門管理】を選び、【設定値の変更】からそれぞれの設定値を変更します。



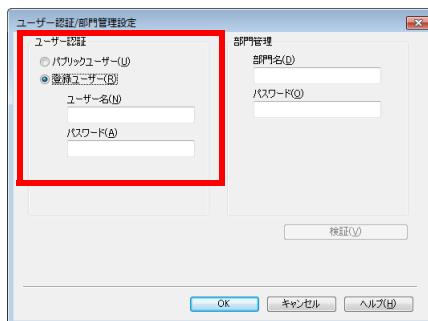
- 3 [OK] をクリックします。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [基本設定] タブの [ユーザー認証 / 部門管理設定 ...] をクリックします。



- 2 ユーザー認証を行っている場合は、[登録ユーザー] を選び、ユーザー名とパスワードを入力します。
 → 本機でパブリックユーザー（登録されていないユーザー）が許可されている場合は、[パブリックユーザー] を選ぶことで、ユーザー名とパスワードを入力せずに印刷できます。



- 3 部門管理を行っている場合は、ユーザー名とパスワードに加えて、部門名とパスワードを入力します。



- 4 [OK] をクリックします。
 → 本機と通信可能な場合は、[検証] をクリックすると、入力した認証情報で認証を実施し、印刷前に認証情報に誤りがないかを確認できます。
- 5 印刷を実行します。
 認証情報が正しい場合は印刷されます。

2.5.5 本機で認証すると同時に印刷する（認証＆プリント）

認証＆プリントについて

認証＆プリントは、ユーザー認証を導入している環境で、印刷データを本機のハードディスクに保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ハードディスクから印刷するには、本機でユーザー認証を行う必要があるため、機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。認証に成功すると、ログインユーザーの印刷データが自動的に印刷されるため、セキュリティを強化するとともにスムーズな運用ができます。



オプションのハードディスクと認証装置を装着し、ICカードによるユーザー認証を導入している場合に利用できます。



ユーザー認証／部門管理は、Web Connection でのみ設定できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

認証＆プリント機能を有効にするには、Web Connection の管理者モードの [セキュリティ] - [認証＆プリント設定] - [認証＆プリント] を [有効] に設定する必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [ジョブの印刷 / 保存] で [認証＆プリント] を選びます。



- 2 [基本設定] タブの [ユーザー認証 / 部門管理設定 ...] で、認証情報を入力し、[OK] をクリックします。

→ 詳しくは、2-48 ページをごらんください。

- 3 印刷を実行します。

印刷データが本機のハードディスクに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作（ログインと同時に印刷する）

- 1 ログイン画面で〔印刷 / ログイン〕を選びます。
- 2 IC カード／NFC 対応モバイル端末を認証装置にかざし（置き）ます。
認証に成功すると、保存されているすべてのデータが印刷されます。

本機での操作（特定のデータだけを印刷する）

- 1 ログイン画面で〔ログイン〕を選びます。
- 2 IC カード／NFC 対応モバイル端末を認証装置にかざし（置き）ます。
- 3 メイン画面（コピー mode）で▲/▼を押して、〔USB/HDD〕を選び、選択を押します。
- 4 [認証＆プリント] を選び、選択を押します。
- 5 [ログインユーザー] を選び、選択を押します。
- 6 ジョブ名を選び、スタートを押し、印刷を開始します。
→ ジョブ名を選び、ストップ / リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。

2.6 プリンタードライバーの設定項目

2.6.1 プリンタードライバーの【プロパティ】画面について

【プロパティ】画面の表示のしかた

プリンタードライバーには、【プロパティ】画面と【印刷設定】画面の2つの設定画面があります。ここでは、【プロパティ】画面の説明をします。

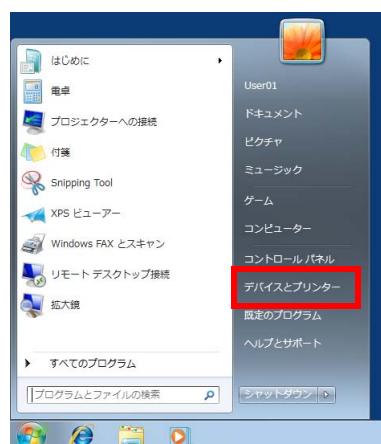
【プロパティ】画面では、本機のオプション環境の設定や、Windowsの機能に関する設定ができます。【プロパティ】画面は、次の手順で表示します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

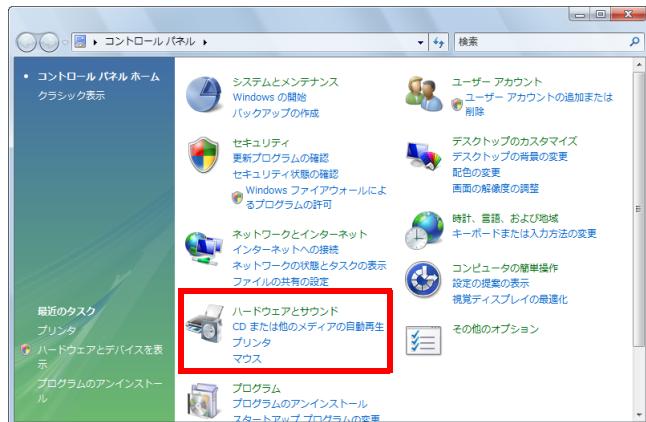
- Windows 8.1 の場合は、スタート画面で【④】をクリックし、【コントロール パネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。
- Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、【すべてのアプリ】 - 【コントロール パネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で【コントロール パネル】 - 【ハードウェア】の【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。



- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから【デバイスとプリンター】をクリックします。
- 【デバイスとプリンター】が表示されていない場合は、【コントロール パネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。



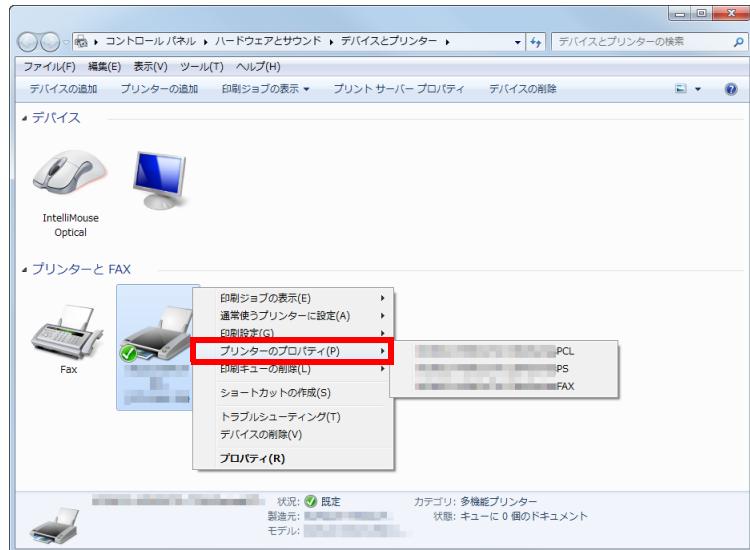
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。



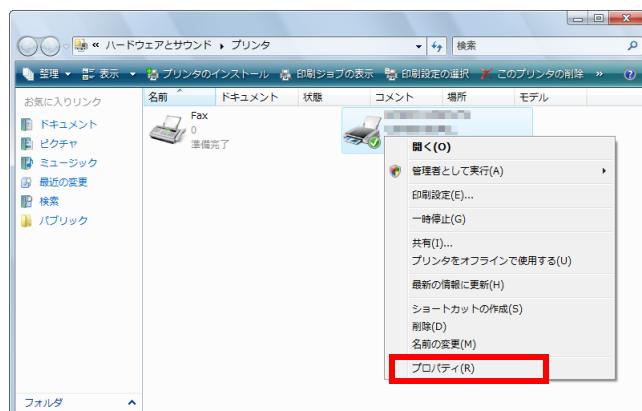
- Windows Server 2003 の場合は、スタートメニューから [プリンタと FAX] をクリックします。
[プリンタと FAX] が表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

2 プリンターのプロパティを開きます。

→ Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンター名をクリックします。



→ Windows Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。



[プロパティ] 画面が表示されます。

Windows が提供するタブについて

[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] は、Windows が提供するタブです。

テストページの印刷、プリンターの共有設定、プリンターのポート設定などが行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

2.6.2 [装置情報] タブでできること

[装置情報] タブでは、本機のオプション装着状態を設定します。本機の情報を自動的に取得して設定することも、手動で設定することもできます。

設定	説明
[装置オプション]	本機の機種名、オプションの装着状態、認証設定を表示します。 本機の設定を取得できない場合は、手動で設定値を変更する必要があります。 変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。
[装置情報取得]	本機と通信してオプションの装着状態を取得します。 [取得設定 ...] で、本機の情報の取得方法を設定します。
[取得設定 ...]	本機の情報を取得するための設定をします。
[自動取得]	本機の情報を常に自動で取得する場合にチェックをつけます。
[取得先設定]	本機から情報を取得するときの通信設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [印刷するポートに接続される装置]：プリンタードライバーの [ポート] タブで設定している印刷ポートから情報を取得します。 [IP アドレスまたはプリンターナームを指定]：入力した IP アドレスまたはプリンターナームの装置に接続して情報を取得します。
[ツール]	Web Connection などの設定ツールを起動します。

参考

- [取得設定 ...] の [自動取得] が有効の場合に、本機と通信できないときは、[プロパティ] 画面や [印刷設定] 画面を表示するのに時間がかかります。
- Windows Server 2003 のコンピューターから USB 接続してお使いの場合は、[装置情報取得] を利用できません。

2.6.3 [初期設定] タブでできること

[初期設定] タブでは、確認メッセージや認証情報の入力画面の表示のしかたなどの初期設定を変更できます。

設定	説明
[メタファイル (EMF) スプールを行う]	独自のシステム環境で、メタファイル (EMF) スプールが必要な場合は、チェックをつけます。
[禁則発生時に確認メッセージを表示する]	プリンタードライバーで同時に使えない機能を設定したときにメッセージを表示する場合は、チェックをつけます。
[サーバープロパティ用紙を使用する]	プリンターの画面の [サーバーのプロパティ] で追加した用紙を使う場合は、チェックをつけます。
[印刷前に認証設定を検証する]	[ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログボックスの [検証] ボタンを有効にする場合は、チェックをつけます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[印刷時に認証設定の入力画面を表示する]	印刷するときに [ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログボックスを表示する場合は、チェックをつけます。ユーザー名やパスワードの入力忘れを防ぎます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[不定形サイズの登録 ...]	特殊なサイズの用紙に印刷することがある場合は、サイズを指定して用紙を登録します。 登録した用紙サイズは、[基本設定] タブの [原稿サイズ] で選べるようになります。


参考

- ・ [メタファイル (EMF) スプールを行う] は、PCL ドライバーの機能です。
- ・ [不定形サイズの登録 ...] は、PCL ドライバーの機能です。
- ・ [サーバーのプロパティ] の開き方は、以下のとおりです。
Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合は、プリンターを選び、ツールバーの [プリント サーバー プロパティ] をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 をお使いの場合は、[プリント] ウィンドウの何もない部分を右クリックし、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] をクリックします。
Windows Server 2003 をお使いの場合は、[ファイル] メニューをクリックし、[サーバーのプロパティ] をクリックします。

2.6.4 プリンタードライバーの [印刷設定] 画面について

[印刷設定] 画面の表示のしかた

プリンタードライバーには、[プロパティ] 画面と [印刷設定] 画面の 2 つの設定画面があります。ここでは、[印刷設定] 画面の説明をします。

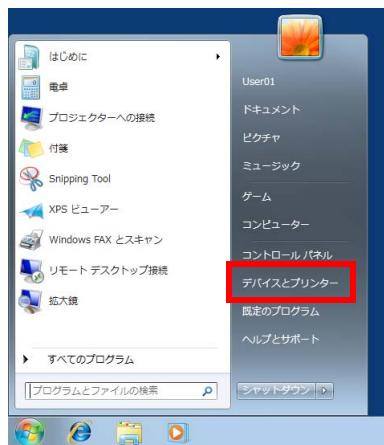
[印刷設定] 画面は、機能のまとまりごとに複数のタブで構成され、本機固有の印刷機能を設定できます。
[印刷設定] 画面は、次の手順で表示します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

- Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [④] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] - [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから【デバイスとプリンター】をクリックします。
 【デバイスとプリンター】が表示されていない場合は、【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。



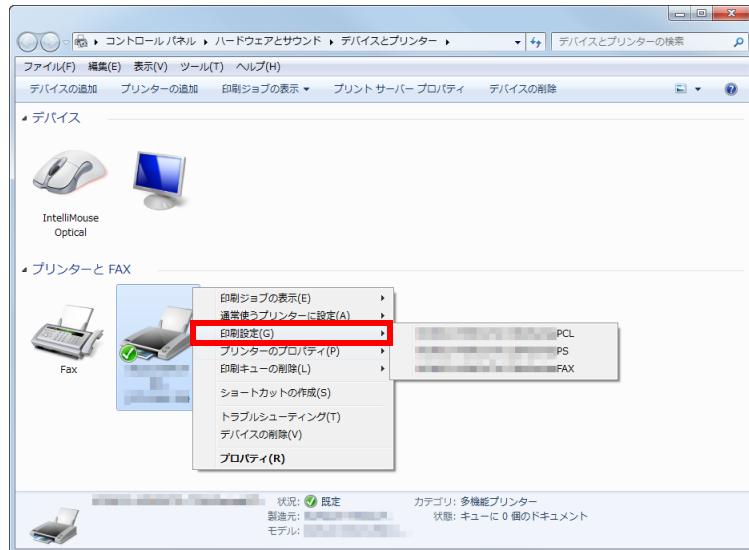
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【プリンタ】をクリックします。
 【コントロールパネル】がクラシック表示になっている場合は、【プリンタ】をダブルクリックします。



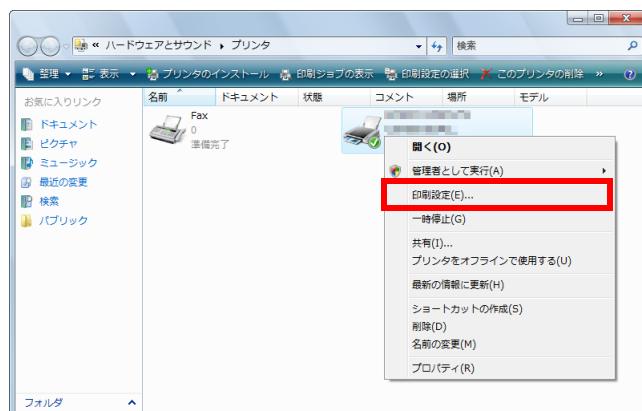
- Windows Server 2003 の場合は、スタートメニューから【プリンタと FAX】をクリックします。
 【プリンタと FAX】が表示されていない場合は、【コントロールパネル】 - 【プリンタとその他のハードウェア】 - 【プリンタと FAX】をクリックします。【コントロールパネル】がクラシック表示になっている場合は、【プリンタ】をダブルクリックします。

2 [印刷設定] を開きます。

→ Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[印刷設定] から、表示されるプリンター名をクリックします。



→ Windows Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [印刷設定 ...] をクリックします。



プリンターの [印刷設定] 画面が表示されます。

 **参考**

ここで変更した印刷設定は、初期値として登録されます。アプリケーションソフトウェアから印刷するときに一時的に設定を変更したいときは、[印刷] 画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックして [印刷設定] 画面を開いてください。

各タブで共通の項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

設定	説明
[お気に入り]	現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、印刷するときに呼出せます。 [お気に入り]について詳しくは、2-18 ページをごらんください。
ビュー	[用紙ビュー] を選ぶと、現在の設定でのページレイアウトのサンプルを表示し、印刷結果のイメージを確認できます。 [本体ビュー] を選ぶと、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンタ構成の図を表示します。
[本体情報]	Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。
[OK]	変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
[ヘルプ]	画面の各項目についてのヘルプを表示します。
[標準に戻す]	設定内容を初期値の状態に戻します。

2.6.5 [詳細設定] でできること

[詳細設定] は、PostScript に関する詳細な設定を行うタブです。この機能は、PS ドライバーのみ利用できます。

設定	説明
[詳細な印刷機能]	小冊子印刷の設定を有効にするかどうかを選びます。
[PostScript オプション]	PostScript のオプション設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [PostScript 出力オプション] : PostScript ファイルの出力方法を選びます。 [PostScript エラーハンドラー送信] : PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかどうかを選びます。 [左右反転印刷] : 左右反転印刷を行うかどうかを選びます。
[PostScript Pass through]	アプリケーションがプリンタードライバーを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを選びます。



[詳細な印刷機能] は、[プロパティ] 画面の [詳細設定] タブにある [詳細な印刷機能を有効にする] にチェックをつけている場合に表示されます。

2.6.6 [My タブ] でできること

[My タブ] は、表示内容を自分専用にカスタマイズできるタブです。

異なるタブに配置されている設定項目を [My タブ] にまとめることができます。よく使う設定項目を [My タブ] に登録しておけば、タブを切換えずに 1 画面でスムーズに設定変更ができます。

[My タブ] の編集のしかたについて詳しくは、2-19 ページをごらんください。

設定	説明
[もっと詳しく]	[My タブ] のヘルプを表示します。
[次回から表示しない]	[もっと詳しく] を含む説明欄を表示しない場合は、チェックをつけます。
[My タブの編集 ...]	[My タブ] に表示する機能を登録／削除します。

2.6.7 [基本設定] タブでできること

[基本設定] タブでは、用紙や印刷に関する基本的な設定ができます。通常の印刷でよく使われる機能が、このタブ上に配置されています。

設定	説明
[原稿の向き]	アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。
[原稿サイズ]	アプリケーションソフトウェアで作った原稿のサイズを選びます。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、[不定形サイズ] を選び、幅と長さを指定します。詳しくは、2-21 ページをごらんください。
[用紙サイズ]	印刷する用紙のサイズを選びます。 原稿サイズと異なる場合で、[ズーム] が [自動] に設定されているときは、選んだ用紙サイズに合わせて拡大または縮小されます。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、[不定形サイズ] を選び、幅と長さを指定します。詳しくは、2-21 ページをごらんください。
[ズーム]	印刷画像の拡大縮小のしかたを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [自動] : [用紙サイズ] で指定したサイズの用紙に合わせて拡大または縮小します。 [任意] : 指定した倍率で拡大または縮小します (25-400%)。
[給紙トレイ]	印刷する用紙の給紙トレイを選びます。 [自動] を選ぶと、[用紙サイズ] で選んだ用紙がセットされているトレイを自動的に使います。
[用紙種類]	[給紙トレイ] で [自動 (プリンタの設定に従う)] を選んだ場合に、印刷する用紙の種類を選びます。[自動 (プリンタの設定に従う)] を選ぶと、操作パネルの [設定メニュー] - [用紙設定] で設定されている用紙種類が適用されます。
[ジョブの印刷 / 保存]	本機から原稿を印刷する方法を選びます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[印刷]	通常の印刷をするときに選びます。
[保存]	原稿を本機のハードディスクに保存するときに選びます。 詳しくは、2-47 ページをごらんください。
[保存 & 印刷]	原稿を本機のハードディスクに保存し、同時に印刷するときに選びます。 詳しくは、2-47 ページをごらんください。
[機密印刷]	機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側でパスワードを入力することによって印刷します。 詳しくは、2-45 ページをごらんください。
[試し印刷]	大量の部数を印刷するときに選びます。1 部だけ印刷して残りの部数の印刷を待機します。 詳しくは、2-44 ページをごらんください。
[認証 & プリント]	ユーザー認証を導入している環境で、機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で認証を実施することで印刷します。 詳しくは、2-50 ページをごらんください。
[ユーザー設定 ...]	[ジョブの印刷 / 保存] で [機密印刷] を選んだときに、必要な情報を入力します。
[ユーザー認証 / 部門管理設定 ...]	ユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ユーザー名または部門名とパスワードを入力します。オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 詳しくは、2-48 ページをごらんください。
[部数]	複数の部数を印刷するときに、印刷する部数を指定します。
[ソート (1 部ごと)]	複数の部数を印刷するときに、1 部ずつ区別して排紙するときはチェックをつけます。 チェックをはずすと、原稿の 1 ページ目を [部数] で指定した枚数だけ排紙し、同様に、2 ページ目、3 ページ目と排紙します。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

設定	説明
[印刷済み用紙の裏に印刷]	一度印刷した用紙の裏面に印刷するときにチェックをつけます。 [印刷済み用紙の裏に印刷] を設定して印刷する場合は、本機で印刷した用紙の裏面をお使いください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

2.6.8 [レイアウト] タブでできること

[レイアウト] タブでは、印刷するときのレイアウトに関する設定ができます。用紙への割付けかたや、印刷位置の調整などができます。

設定	説明
[ページ割付]	印刷する原稿の用紙への割付けかたを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [2 in 1] / [4 in 1] / [6 in 1] / [9 in 1] / [16 in 1] : 複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。たとえば、[9 in 1] を選ぶと、9ページ分を1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。 ・ [2 × 2] / [3 × 3] / [4 × 4] (PCLのみ) : 原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して印刷します。たとえば、[2 × 2] であれば、1ページの原稿を4枚の用紙に分割して印刷します。つなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上ります。 必要に応じて、[ページ割付詳細...] をクリックして、割付けかたの詳細な設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [ページ割付] : 割付けかたを選びます。 ・ [順序] : [ページ割付] で「N in 1」を指定したときに、ページ配置の順序を選びます。 ・ [境界] : [ページ割付] で「N in 1」を指定したときに、ページ間に境界線を入れる場合は、チェックをつけます。あわせて、境界線の種類を選びます。 ・ [のりしろ線] : [ページ割付] で「N × N」を指定したときに、のりしろを作る場合は、チェックをつけます。
[180度回転]	原稿を180度回転して印刷するときにチェックをつけます。
[白紙抑制]	原稿の白紙ページを印刷対象から除外するときにチェックをつけます。
[印刷種類]	用紙の印刷面を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [片面] : 用紙の片面に印刷します。 ・ [両面] : 用紙の両面に印刷します。 ・ [小冊子] : 小冊子の形態になるように印刷します。原稿データの順番を並替え、見開きで両面印刷します。印刷後、用紙をまとめて2つ折りになると、本のようなページ順になります。必要に応じて [小冊子詳細...] をクリックし、開き方向と境界線の有無を指定します。
[開き方向 / とじ方向]	とじ位置を選びます。
[とじしろ]	印刷した用紙にとじしろ（余白）を作るときにチェックをつけます。 [とじしろ設定...] をクリックして、余白量を詳細に指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [シフトモード] : とじしろを作るときの、画像のずらし方を選びます。 ・ [表面] : 表面のとじしろ量を指定します。 ・ [裏面] : 両面印刷する場合は、裏面のとじしろ量を指定します。[表面と裏面を同じ値にする] にチェックをつけると、表と裏で同じだけとじしろを作ります。
[画像シフト]	用紙に対する画像の印刷位置を微調整（シフト）して印刷するときにチェックをつけます。 [画像シフト設定...] をクリックして、印刷位置を詳細に指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [表面] : 表面の上下左右のシフト量を指定します。 ・ [裏面] : 両面印刷する場合は、裏面の上下左右のシフト量を指定します。

2.6.9 [カバーシート / 挿入紙] タブでできること

[カバーシート / 挿入紙] タブでは、表紙やページの挿入ができます。

設定	説明
[表カバー]	表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、[表カバー用トレイ] で、表紙用の給紙トレイを選びます。また、表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [白紙]：表紙として挿入した用紙には印刷しません。 ・ [片面のみ印刷]：表紙として挿入した用紙の片面に印刷します。 ・ [両面に印刷]：表紙として挿入した用紙の両面に印刷します。 [基本設定] タブの [給紙トレイ] で [自動] 以外を選んだときに設定できます。
[裏カバー]	裏表紙を挿入して印刷するときにチェックをつけます。あわせて、[裏カバー用トレイ] で、裏表紙に使う用紙の給紙トレイを選びます。また、裏表紙として挿入した用紙に印刷するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [白紙]：裏表紙として挿入した用紙には印刷しません。 ・ [片面のみ印刷]：裏表紙として挿入した用紙の片面に印刷します。 ・ [両面に印刷]：裏表紙として挿入した用紙の両面に印刷します。 [基本設定] タブの [給紙トレイ] で [自動] 以外を選んだときに設定できます。
[区切りページ]	1ジョブまたは1部ごとの区切りに用紙を挿入して印刷するときにチェックをつけ、区切りページを挿入する位置を [ジョブの先頭]、[部の先頭]、[部の末尾] から選びます。あわせて、[区切りページ用トレイ] で、区切りページに使う用紙の給紙トレイを選びます。 [基本設定] タブの [給紙トレイ] で [自動] 以外を選んだときに設定できます。

2.6.10 [スタンプ / ページ印字] タブでできること

[スタンプ / ページ印字] タブでは、原稿に文字や画像を追加するための設定ができます。

設定	説明
[ウォーターマーク]	原稿にウォーターマーク（文字スタンプ）を印字するときにチェックをつけます。あわせて、印字するウォーターマークを一覧から選びます。 [編集 ...] をクリックすると、ウォーターマークの登録や編集ができます。詳しくは、2-30 ページをごらんください。
[コピープロテクト] (PCLのみ)	「コピー」や「社外秘」などの文字を、背景パターンの中に目立たない文字として印字するときにチェックをつけます。 [編集 ...] をクリックすると、コピープロテクトの印字項目や、印字のしかたなどの詳細な設定ができます。詳しくは、2-34 ページをごらんください。
[オーバーレイ作成] (PCL/XPS)	アプリケーションソフトウェアで作成したデータを、原稿に合成するためのオーバーレイ画像として、コンピューターに保存するときにチェックをつけます。詳しくは、2-33 ページをごらんください。
[オーバーレイ印刷]	作成したオーバーレイ画像を、原稿に合成して印刷するときにチェックをつけます。詳しくは、2-31 ページをごらんください。

2.6.11 [画像品質] タブでできること

[画像品質] タブでは、原稿画質に関する設定ができます。カラーの設定や、イメージの処理、フォントの処理をどのようにするかを設定できます。

お使いのプリンタードライバーによって、設定できることが異なります。

設定	説明
[カラー選択]	印刷する色を選びます。 • [オートカラー]：原稿の色に合わせてカラーを自動選択して印刷します。 • [グレースケール]：原稿の色に関わらず、モノクロで印刷します。
[画質調整 ...]	原稿に合わせて、明度、コントラストを調整します。
[カラー設定]	原稿に合わせてカラー設定のモードを選びます。 • [自動]：自動で原稿に適したカラー設定にします。 • [写真]：イメージ品質を優先したカラー設定にします。 • [プレゼンテーション]：文字や図形などが混在した原稿に適したカラー設定にします。 • [ICM] (PS のみ)：Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。[詳細 ...] をクリックすると、ICM の方法と目的を設定できます。 • [カスタム]：原稿内のオブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィックス）ごとに手動でカラー設定を行います。詳しくは、2-38 ページをごらんください。 • [色変換なし] (PCL/PS)：色変換を行わずに印刷します。
[解像度] (PCL/PS)	印刷時の解像度を選びます。
[パターン] (PCL/XPS)	パターンの密度を選びます。
[イメージ圧縮] (PCL のみ)	原稿に含まれるイメージデータの圧縮方法を選びます。 • [標準 (品質優先)]：品質を優先します。品質は向上しますが、印刷に時間がかかります。 • [高圧縮 (速度優先)]：速度を優先します。印刷にかかる時間は短縮されますが、印刷の品質は低下します。
[トナー節約]	トナー消費量を節約したいときにチェックをつけます。印刷濃度を抑えます。
[エッジ強度]	小さい文字や薄い文字をくっきりさせたいときにチェックをつけ、強調する度合いを選びます。
[フォント設定] (PCL/PS)	文字の処理方法を指定します。 コンピューターから本機にダウンロードするフォントのタイプを選びます。また、印刷時に、TrueType をプリンターフォントに置換えるかどうかを指定します。 PCL ドライバーをお使いの場合に文字化けが発生するときは、[ダウンロードフォント] で [ビットマップ] を選び、[プリンターフォントを使用する] のチェックをはずすことをおすすめします。

2.6.12 [その他] タブでできること

[その他] タブでは、ドライバーのバージョン確認やアプリケーションソフトウェアの印刷設定ができます。

設定	説明
[MS-Excel によるジョブ分割を抑制する]	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷するときにチェックをつきます。 ページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷すると、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能によってジョブの分割をできるだけ抑止します。
[MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する] (PCL/XPS)	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイ画像を重ねて印刷するときにチェックをつきます。 PowerPoint データの白背景がオーバーレイ画像を隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿どおりに印刷します。
[極細線を描画する] (PCL のみ)	縮小印刷するときにチェックをつきます。細い線が消えてしまうことを抑止します。 Excel で作成した表罫線のような細線に対して効果がありますが、イラストなどの細線には効果がありません。
[ドライバーバージョン情報]	お使いのプリンタードライバーのバージョンを確認します。



参考

- [MS-Excel によるジョブ分割を抑制する]、[MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する] は、特定の環境、アプリケーションソフトウェアによっては利用できない場合があります。
- [MS-Excel によるジョブ分割を抑制する] は、[プリンタ] (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は [デバイスとプリンター]、Windows Server 2003 の場合は [プリンタと FAX]) ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログボックスを表示した場合に変更できます。

2.7 プリンタードライバーを削除する

削除プログラムで削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組込まれています。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 削除プログラムを起動します。

- スタートメニューから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [KONICA MINOLTA] - 本機のモデル名 - [プリンタードライバーの削除] をクリックします。
- Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [④] をクリックし、[コントロール パネル] - [プログラム] の [プログラムのアンインストール] をクリックします。一覧から、削除したいドライバーをダブルクリックします。
- Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] - [プログラム] の [プログラムのアンインストール] をクリックします。一覧から、削除したいドライバーをダブルクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] - [プログラム] の [プログラムのアンインストール] をクリックします。一覧から、削除したいドライバーをダブルクリックします。

2 削除するプリンタードライバーを選び、[削除] をクリックします。

- 以降は、表示される画面に従って操作してください。

3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

インストーラーを使って削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、インストーラーを使って削除できます。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

- インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
- インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2 [プリントのインストール] をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。

4 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタードライバーの削除] を選び、[次へ] をクリックします。

6 削除するプリンタードライバーを選び、[削除] をクリックします。

- 以降は、表示される画面に従って操作してください。

7 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、コンピューターを再起動します。

以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

3

Mac OS 環境で印刷する

3 Mac OS 環境で印刷する

3.1 印刷の準備 (Bonjour 接続)

3.1.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、プリンターを追加する必要があります。

ここでは、Mac OS X 10.3 以降で対応している Bonjour (Rendezvous) 接続によって、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。



- Bonjour は、ネットワークに接続した機器のネットワーク設定やサービスの探索を、特別な設定をすることなく利用できるようにする技術です。
- Rendezvous は、Mac OS X 10.3 での呼び名です。

3.1.2 コンピューターのセットアップの前に (管理者向け)

本機をネットワークに接続する

- LAN ケーブルの接続を確認する



Bonjour の使用設定をする

- Bonjour を有効にする
- プリンター名 (Bonjour 名) をつける
→ 接続機器名として表示する本機の名前を入力します。



準備完了

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。

Bonjour の使用設定をする

Bonjour を有効にします (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。また、接続機器名として表示する本機の名前 (Bonjour 名) を入力します。

設定のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章 「Web Connection を使う」をごらんください。

3.1.3 コンピューターのセットアップ

プリンタードライバーを準備する

- プリンタードライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- プリンタードライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする
 - Driver & Utilities CD-ROM をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- プリンターを追加する
 - Bonjour で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。



準備完了

プリンタードライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。プリンタードライバーは、Driver & Utilities CD-ROM に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、Linux 用プリンタードライバー、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の CD-ROM に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとおりです。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)	PostScript 3 Emulation	Mac OS X (10.3.x、10.4.x、10.5.x、10.6.x、10.7.x、10.8.x、10.9.x、10.10.x)

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

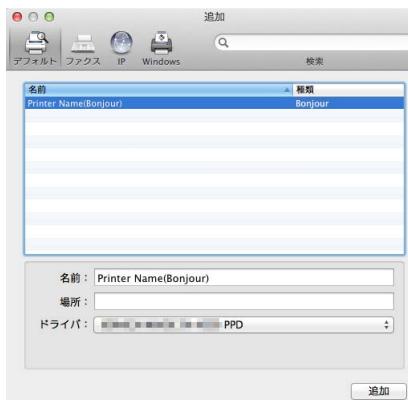
- ✓ アプリケーションソフトが起動しているときは、あらかじめすべて終了してください。

- 1 Driver & Utilities CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを開きます。
→ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
- 3 Mac OS X のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。
→ Mac OS X 10.3 : 本機のモデル名_103104.pkg
→ Mac OS X 10.4 : 本機のモデル名_103104.pkg
→ Mac OS X 10.5 : 本機のモデル名_105.pkg
→ Mac OS X 10.6 : 本機のモデル名_106.pkg
→ Mac OS X 10.7 : 本機のモデル名_106.pkg
→ Mac OS X 10.8 : 本機のモデル名_106.pkg
→ Mac OS X 10.9 : 本機のモデル名_106.pkg
→ Mac OS X 10.10 : 本機のモデル名_106.pkg
→ Mac OS X 10.5 以降では使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。
おもにメトリックサイズ (A4 など) で印刷する場合 : 「WW_A4」 フォルダー
おもにインチサイズ (Letter, 8 1/2 × 11) で印刷する場合 : 「WW_Letter」 フォルダー
- 4 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 5 [インストール] 画面が表示されるまで、画面の指示に従って [続ける] をクリックします。
→ 途中で、名前とパスワードが要求されますので、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。
- 6 [インストール] をクリックします。
プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。
- 7 [閉じる] をクリックします。
以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。続いて、コンピューターにプリンターを追加します。

Bonjour による接続設定 (Mac OS X 10.4 以降)

Bonjour で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定 ...] を選びます。
- 2 [プリントとファクス] アイコンをクリックします。
→ Mac OS X 10.7/10.8 の場合は、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。Mac OS X 10.9/10.10 の場合は、[プリントとスキャナ] アイコンをクリックします。
- 3 画面左下の [+] をクリックします。
→ Mac OS X 10.4/10.5/10.6 の場合は手順 4 へ進みます。
→ Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 の場合で、[+] をクリックした一覧に目的のプリンター名が表示されているときはプリンター名を選択します。自動的にプリンタードライバーが選択されると、プリンターの追加の完了です。プリンター名が表示されない場合は、[ほかのプリントまたはスキャナを追加 ...] または [プリントまたはスキャナを追加 ...] を選択し、手順 4 へ進みます。
- 4 [デフォルト] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
→ プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。
- 5 [プリンタ名] 一覧から、Bonjour 接続の目的のプリンターを選びます。
→ プリンター名は、Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [Bonjour 設定] で確認できます。
→ 初期設定では、プリンター名の末尾の () 内が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。



選んだプリンターに対応するプリンタードライバーが [ドライバ:] に表示されます。

- プリンタードライバーが表示された場合は、手順 7 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく表示されない場合は、手順 6 へ進みます。

- 6 プリンタードライバーを手動で選びます。
→ Mac OS X 10.9/10.10 をお使いの場合は、[ドライバ:] で [ソフトウェアを選択 ...] を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。
→ Mac OS X 10.6/10.7/10.8 をお使いの場合は、[ドライバ:] で [プリントソフトウェアを選択 ...] を選び、別ウィンドウで表示される一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。
→ Mac OS X 10.5 をお使いの場合は、[ドライバ:] で [使用するドライバを選択 ...] を選び、一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。
→ Mac OS X 10.4 をお使いの場合は、[ドライバ:] で [KONICA MINOLTA] を選び、一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。
- 7 [追加] をクリックします。

以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、[インストール可能なオプション] 画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

Rendezvous による接続設定 (Mac OS X 10.3)

Rendezvous で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。

- 1 [Macintosh HD] (システムのハードディスク) - [アプリケーション] - [ユーティリティ] 内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 2 [使用可能なプリンタがありません。] 画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。[プリンタリスト] が表示された場合は、[追加] をクリックします。
 - すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、[使用可能なプリンタがいません。] 画面は表示されません。
- 3 接続方法として [Rendezvous] を選びます。

接続されているプリンターが検出されます。

 - プリンターが検出されない場合は、本機を再起動してください。
- 4 [名前] 一覧から、Rendezvous 接続の目的のプリンターを選びます。
 - プリンター名は、Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [Bonjour 設定] で確認できます。
 - 初期設定では、プリンター名の末尾の () 内が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。
- 5 プリントドライバーを手動で選びます。
 - [プリンタの機種:] で [KONICA MINOLTA] を選び、機種名一覧から目的のプリンターのドライバーをクリックします。



- 6 [追加] をクリックします。
- 以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、[インストール可能なオプション] 画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

3.1.4 プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態などを正しくプリンタードライバーに設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定 …] を開き、[プリントとファクス] アイコンをクリックします。
→ Mac OS X 10.7/10.8 の場合は、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。Mac OS X 10.9/10.10 の場合は、[プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。
→ Mac OS X 10.3 の場合は、[Macintosh HD] (システムのハードディスク) - [アプリケーション] - [ユーティリティ] 内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 2 [プリンタ情報] 画面を表示します。
→ Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10 の場合は、[オプションとサプライ …] をクリックします。Mac OS X 10.4 の場合は、[プリンタ設定 …] をクリックします。
→ [プリンタ設定ユーティリティ] 画面の場合は、[プリンタ] メニューの [情報を見る] をクリックします。
- 3 [インストール可能なオプション] 画面を表示します。
→ Mac OS X 10.9/10.10 をお使いの場合は、[オプション] をクリックします。
→ Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8 をお使いの場合は、[ドライバ] をクリックします。
→ Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、[インストール可能なオプション] を選びます。
- 4 本機のオプションの装着状態に合わせて、設定を変更します。



- 5 [OK] または [変更を適用] をクリックし、[プリンタ情報] 画面を閉じます。

印刷設定の初期値を変更する

プリンタードライバーの [ページ設定] 画面で、用紙や倍率の設定の初期値を変更できます。

- 1 プリンタードライバーの [ページ設定] 画面を表示します。
→ [ページ設定] 画面の表示のしかたについては、3-31 ページをごらんください。
- 2 設定を変更し、[設定:] から [デフォルトとして保存] を選びます。



3.2 印刷の準備 (USB 接続)

3.2.1 概要

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、プリンターを追加する必要があります。

ここでは、USB 接続によって、本機で印刷できるようになるまでの準備を説明します。

3.2.2 コンピューターのセットアップ

プリンタードライバーを準備する

- プリンタードライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- プリンタードライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

- インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールする
 - Driver & Utilities CD-ROM をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- プリンターを追加する
 - USB 接続で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。



準備完了

プリンタードライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。プリンタードライバーは、Driver & Utilities CD-ROM に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、Linux 用プリンタードライバー、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

プリンタードライバーの対応 OS を確認する

本機に付属の CD-ROM に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は次のとおりです。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)	PostScript 3 Emulation	Mac OS X (10.3.x、10.4.x、10.5.x、10.6.x、10.7.x、10.8.x、10.9.x、10.10.x)

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

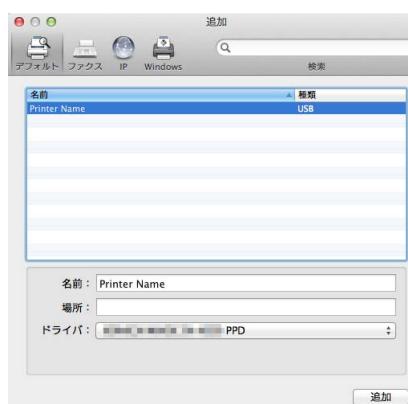
- ✓ アプリケーションソフトが起動しているときは、あらかじめすべて終了してください。

- 1 Driver & Utilities CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを開きます。
→ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選んでください。
- 3 Mac OS X のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。
→ Mac OS X 10.3 : 本機のモデル名 _103104.pkg
→ Mac OS X 10.4 : 本機のモデル名 _103104.pkg
→ Mac OS X 10.5 : 本機のモデル名 _105.pkg
→ Mac OS X 10.6 : 本機のモデル名 _106.pkg
→ Mac OS X 10.7 : 本機のモデル名 _106.pkg
→ Mac OS X 10.8 : 本機のモデル名 _106.pkg
→ Mac OS X 10.9 : 本機のモデル名 _106.pkg
→ Mac OS X 10.10 : 本機のモデル名 _106.pkg
→ Mac OS X 10.5 以降では使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。
おもにメトリックサイズ (A4 など) で印刷する場合 : 「WW_A4」 フォルダー
おもにインチサイズ (Letter, 8 1/2 × 11) で印刷する場合 : 「WW_Letter」 フォルダー
- 4 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 5 [インストール] 画面が表示されるまで、画面の指示に従って [続ける] をクリックします。
→ 途中で、名前とパスワードが要求されますので、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。
- 6 [インストール] をクリックします。
プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。
- 7 [閉じる] をクリックします。
以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。続いて、コンピューターにプリンターを追加します。

USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.5 以降)

USB 接続で自動検出したプリンターをコンピューターに追加します。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
→ ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。
- 2 アップルメニューの [システム環境設定 …] を選びます。
- 3 [プリントとファクス] アイコンをクリックします。
→ Mac OS X 10.7/10.8 の場合は、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。Mac OS X 10.9/10.10 の場合は、[プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。
- 4 画面左下の [+] をクリックします。
→ Mac OS X 10.4/10.5/10.6 の場合は手順 4 へ進みます。
→ Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 の場合で、[+] をクリックした一覧に目的のプリンター名が表示されているときはプリンター名を選択します。自動的にプリンタードライバーが選択されると、プリンターの追加の完了です。プリンター名が表示されない場合は、[ほかのプリントまたはスキャナを追加 …] または [プリンタまたはスキャナを追加 …] を選択し、手順 4 へ進みます。
- 5 [デフォルト] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
→ プリンターが検出されない場合は、本機の電源が ON になっていることと、USB ケーブルが接続されていることを確認し、コンピューターを再起動してください。
- 6 [プリンタ名] 一覧から、USB 接続の目的のプリンターを選びます。



選んだプリンターに対応するプリンタードライバーが [ドライバ:] に表示されます。

- 7 [追加] をクリックします。
以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、[インストール可能なオプション] 画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.4)

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
→ ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。
- 2 [Macintosh HD] (システムのハードディスク) - [アプリケーション] - [ユーティリティ] 内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
→ プリンターが検出されない場合は、本機の電源が ON になっていることと、USB ケーブルが接続されていることを確認し、コンピューターを再起動してください。
- 4 一覧から、USB 接続の目的のプリンターを選びます。
選んだプリンターに対応するプリンタードライバーが [使用するドライバ:] に表示されます。
- 5 [追加] をクリックします。
以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、[インストール可能なオプション] 画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

USB 接続による接続設定 (Mac OS X 10.3)

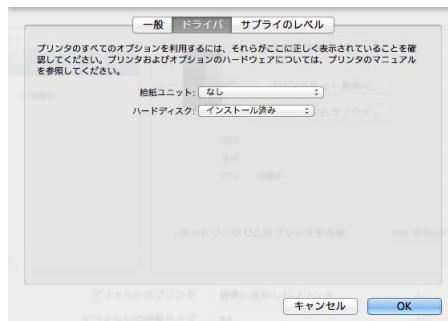
- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
→ ケーブルの接続箇所について詳しくは、1-3 ページをごらんください。
- 2 [Macintosh HD] (システムのハードディスク) - [アプリケーション] - [ユーティリティ] 内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。
- 4 接続方法として [USB] を選びます。
接続されているプリンターが検出されます。
→ プリンターが検出されない場合は、本機の電源が ON になっていることと、USB ケーブルが接続されていることを確認し、コンピューターを再起動してください。
- 5 一覧から、USB 接続の目的のプリンターを選びます。
選んだプリンターに対応するプリンタードライバーが [使用するドライバ:] に表示されます。
- 6 [追加] をクリックします。
以上で、プリンターの追加の完了です。続いて、[インストール可能なオプション] 画面で、本機のオプション環境の設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

3.2.3 プリンタードライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態などを正しくプリンタードライバーに設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定 …] を開き、[プリントとファクス] アイコンをクリックします。
 - Mac OS X 10.7/10.8 の場合は、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。Mac OS X 10.9/10.10 の場合は、[プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。
 - Mac OS X 10.3 の場合は、[Macintosh HD] (システムのハードディスク) - [アプリケーション] - [ユーティリティ] 内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 2 [プリンタ情報] 画面を表示します。
 - Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10 の場合は、[オプションとサプライ …] をクリックします。Mac OS X 10.4 の場合は、[プリンタ設定 …] をクリックします。
 - [プリンタ設定ユーティリティ] 画面の場合は、[プリンタ] メニューの [情報を見る] をクリックします。
- 3 [インストール可能なオプション] 画面を表示します。
 - Mac OS X 10.9/10.10 をお使いの場合は、[オプション] をクリックします。
 - Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8 をお使いの場合は、[ドライバ] をクリックします。
 - Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、[インストール可能なオプション] を選びます。
- 4 本機のオプションの装着状態に合わせて、設定を変更します。



- 5 [OK] または [変更を適用] をクリックし、[プリンタ情報] 画面を閉じます。

印刷設定の初期値を変更する

プリンタードライバーの [ページ設定] 画面で、用紙や倍率の設定の初期値を変更できます。

- 1 プリンタードライバーの [ページ設定] 画面を表示します。
 - [ページ設定] 画面の表示のしかたについては、3-31 ページをごらんください。
- 2 設定を変更し、[設定:] から [デフォルトとして保存] を選びます。



3.3 印刷のしかた

3.3.1 印刷の流れ

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンタ:] で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
→ [プリント] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。
- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
→ Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 をお使いの場合に、設定項目 (1) が表示されていない場合は、[詳細を表示] をクリックします。
→ Mac OS X 10.5/10.6 をお使いの場合に、設定項目 (1) が表示されていない場合は、[プリンタ:] 右側の をクリックします。



- 4 必要に応じて、アプリケーションソフトウェア名 (2) のメニューを切換え、印刷設定を変更します。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態（初期値）に戻ります。よく使う印刷設定はプリセットとして登録しておくと便利です。詳しくは、3-14 ページをごらんください。
- 5 [プリント] をクリックします。
印刷が実行されます。



参考

本機で印刷ジョブを受信すると、メッセージウィンドウに印刷中であることを示すメッセージが表示されます。印刷中に ▶ を押すと、[プリンターモード] 画面が表示され、印刷中のジョブのステータスを確認できます。また、[プリンターモード] 画面でストップ / リセットを押すと、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示され、以下のメニューを選択できます。

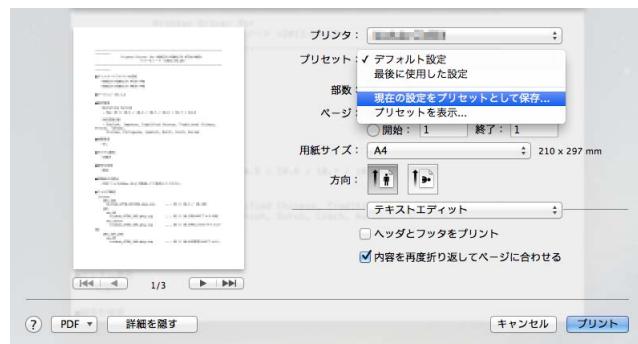
- [継続]：ジョブを削除せず、印刷を続行します。
- [現在のジョブ]：実行中のジョブを削除します。
- [全てのジョブ]：全てのジョブを削除します。

3.3.2 よく使う印刷設定を登録する

現在の印刷設定をプリセットとして登録し、印刷するときにその設定を呼出せます。

よく使う印刷設定をプリセットとして登録しておけば、複数のメニューにまたがった複雑な設定でも、プリセットから選ぶだけで簡単に一括設定できます。

- 1 プリンタードライバーの【プリント】画面を表示します。
→ 【プリント】画面の表示のしかたについては、3-32ページをごらんください。
- 2 印刷設定を変更し、【プリセット:]】から【別名で保存...】（または【現在の設定をプリセットとして保存...】）を選びます。



- 3 印刷設定の名前を入力します。

保存した設定は、【プリセット:]】から呼出せます。あとで呼出すときに、わかりやすい名前をつけてください。

3.4 便利な印刷機能

3.4.1 用紙のサイズや種類を変更して印刷する

任意の倍率で拡大／縮小して印刷する（[拡大縮小:]）

任意の倍率を指定して、原稿画像を拡大または縮小して印刷します。

[ページ属性] の [拡大縮小:] で、倍率を指定します。

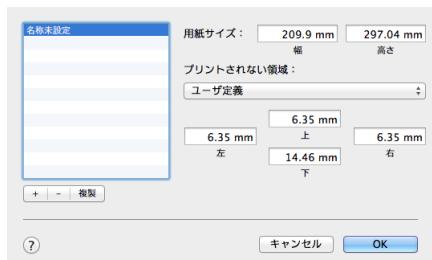


特殊なサイズの用紙に印刷する（[ページ設定]）

特殊なサイズの原稿を、手差しトレイまたはトレイ 1 にセットした不定形サイズの用紙に印刷します。

[ページ属性] の [用紙サイズ:] で [カスタムサイズを管理...] を選び、任意の幅と長さを指定します。

- 1 [ファイル] メニューから [ページ設定]（または [用紙設定]）をクリックします。
→ Mac OS X 10.5 以降をお使いの場合は、[プリント] 画面の [用紙サイズ:] でも同じ設定ができます。
- 2 カスタムサイズの登録画面を開きます。
→ Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合は、用紙サイズの一覧から [カスタムサイズを管理...] を選びます。
→ Mac OS X 10.3をお使いの場合は、[設定:] から [カスタム用紙サイズ] を選びます。
- 3 [+] (Mac OS X 10.4 以降) または [新規] (Mac OS X 10.3) をクリックします。
- 4 登録する用紙サイズの名前を入力します。
→ A4、Custom など、既存の定形紙の名前は登録できません。
- 5 任意の幅と長さを指定します。
→ 必要に応じて、[プリントされない領域:] または [プリンタの余白:] で、用紙の上下左右に余白をつけます。



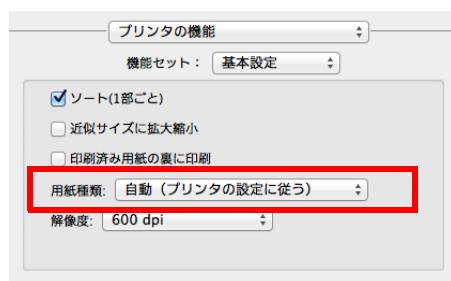
- 6 [OK] (Mac OS X 10.4 以降) または [保存] (Mac OS X 10.3) をクリックします。
カスタム用紙サイズが登録され、[ページ属性] の [用紙サイズ:] で選べるようになります。



不定形サイズの用紙に印刷するときは、手差しトレイまたはトレイ 1 を使います。手差しトレイまたはトレイ 1 への用紙のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド はじめにお読みください」の 6 章「用紙をセットする」をごらんください。

用紙の種類を指定して印刷する（[用紙種類:]）

[プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [用紙種類:] で、印刷する用紙の種類を選びます。



参考

本機の [レターヘッド両面印刷] が [禁止]（初期値）に設定されている場合、[用紙種類:] で [レターヘッド紙] を選択して両面印刷を実行しても、片面に印刷されます。

給紙トレイを指定して印刷する（[給紙]）

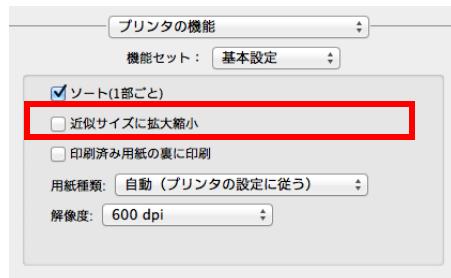
[給紙] の [全体] で、印刷する用紙の給紙トレイを選びます。



近いサイズの用紙に拡大／縮小して印刷する（[近似サイズに拡大縮小]）

給紙トレイにセットされている用紙のサイズが原稿データのページサイズに合わない場合、自動的にページサイズを拡大または縮小して、近いサイズの用紙に印刷します。

[プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [近似サイズに拡大縮小] にチェックをつけます。



3.4.2 複数の部数を印刷する

印刷部数を指定する ([部数 :])

[プリント] 画面の [部数:] で、印刷する部数を指定します。



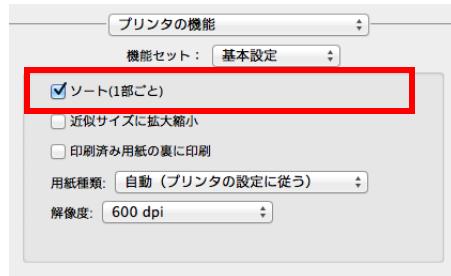
Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、[印刷部数と印刷ページ] で設定します。



大量の部数を印刷するときは、試し印刷機能を使うと大量のミスプリントを防ぎ、無駄な用紙の使用を抑えられます。詳しくは、3-26 ページをごらんください。

部単位で印刷する ([ソート (1部ごと)])

[プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [ソート (1部ごと)] にチェックをつけると、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙します。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

3.4.3 印刷枚数を節約する

用紙の両面に印刷する（[両面]）

用紙の両面に印刷して、用紙の使用量を半分に節約できます。

[プリンタの機能] の [レイアウト] メニューの [印刷種類:] で [両面] を選びます。また、[開き方向 / とじ方向:] で、開き方向を選びます。初期値は [両面] です。



複数のページを1枚の用紙の同じ面に印刷する（[ページ数/枚:]）

複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷し、用紙の使用量を節約できます。

[レイアウト] の [ページ数/枚:] で、1枚の用紙の同じ面に何ページ印刷するかを指定します。たとえば、[9] を選ぶと、9ページ分を1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。

必要に応じて、[レイアウト方向:] でページの配置順序を指定し、[境界線:] でページ間に境界線を入れるかどうかを指定します。



印刷済みの用紙の裏面に印刷する（[印刷済み用紙の裏に印刷]）

[プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [印刷済み用紙の裏に印刷] にチェックをつけます。



 **参考**
[印刷済み用紙の裏に印刷] を設定して印刷する場合は、本機で印刷した用紙の裏面をお使いください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

3.4.4 レイアウトを調整して印刷する

左右を反転して印刷する（[左右反転]）

印刷画像の左右を反転して印刷します。

[レイアウト] の [左右反転] にチェックをつけます。



この機能は、Mac OS X 10.6/10.7/10.8/10.9/10.10 のみ設定できます。

180 度回転して印刷する（[ページの方向を反転]）

印刷画像の天地が逆になるように印刷します。封筒などのセット方向が変えられない用紙に印刷するときに使います。

[レイアウト] の [ページの方向を反転] にチェックをつけます。



この機能は、Mac OS X 10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10 のみ設定できます。

3.4.5 表紙を挿入する

表紙を挿入して印刷する（[給紙]）

原稿の最初のページに、表紙として本文と異なる用紙を挿入します。

表紙用の用紙は、本文用とは別の用紙（色紙や厚紙など）を選べ、表紙と本文を別々に印刷することなく、一度に印刷できます。

[給紙] の [先頭ページのみ:] で、表紙ページに使用する用紙の給紙トレイを選びます。あわせて、[残りのページ:] で、本文ページに使用する用紙の給紙トレイを選びます。



表紙にメッセージを印刷する（[表紙]）

表紙に [社外秘] や [機密] などのメッセージを印刷します。

[表紙] の [表紙をプリント:] で、表紙を文書の前ページに印刷するか、文書の後ページに印刷するかを選び、[表紙のタイプ:] で、印刷するメッセージの種類を選びます。

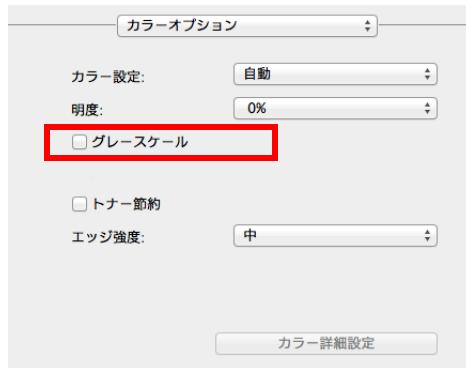
課金情報を印刷する場合は、[課金情報:] に印刷する内容を入力します。



3.4.6 カラーや画質を指定して印刷する

グレースケールで印刷する ([グレースケール])

[カラーオプション] の [グレースケール] にチェックをつきます。



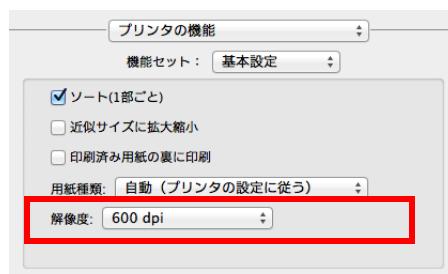
原稿に合わせて明るさを微調整する ([明度:])

[カラーオプション] の [明度:] で、原稿に合わせて、明るさを微調整します。



印刷の解像度を指定する ([解像度:])

[プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [解像度:] で、印刷の解像度を選びます。



原稿に適したカラー表現を選ぶ（[カラー設定:]）

写真やプレゼンテーション資料など、原稿の内容に適した設定を選んで、最適な画質で印刷します。

[カラーオプション] の [カラー設定:] で、原稿に合わせて、カラー設定のモードを選びます。



原稿内のオブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィックス）ごとにカラー表現方法を細かく設定することもできます。

- 1 [カラーオプション] の [カラー設定:] で [カスタム] を選び、[カラー詳細設定] をクリックします。
- 2 イメージ、テキスト、グラフィックスのカテゴリーごとに、印刷に使用する RGB カラーや出力プロファイルなどを指定します。

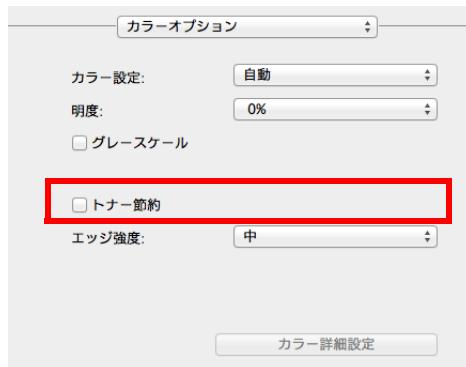
設定	説明
[イメージ] [テキスト] [グラフィックス]	<p>イメージ、テキスト、グラフィックスのカテゴリーごとにカラー設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [RGB カラー:] : プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。 ・ [RGB 色変換:] : プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。 ・ [RGB グレー再現:] : プリンターで処理する黒、グレーの印刷方法を指定します。 ・ [出力プロファイル:] : プリンターが使用する出力プロファイルを指定します。 ・ [スクリーン:] : プリンターが使用するスクリーン特性を指定します。 ・ [エッジ強調:] : エッジ部分を強調するかどうかを指定します。
[シミュレーション]	<p>シミュレーションに関する設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [シミュレーションプロファイル] : 本機が使用する入力 CMYK のシミュレーションプロファイルを選びます。 ・ [用紙下地色にあわせる] : シミュレーションを実施するときに用紙の下地色にあわせて印刷するかどうかを選びます。 ・ [CMYK グレー再現] : シミュレーションを実施するときの CMYK 入力データにおける K 版の印刷方法を指定します。



[プロファイルの管理] から各種プロファイルの追加、削除などができます。詳しくは、3-24 ページをご覧ください。

トナー消費量を節約する ([トナー節約])

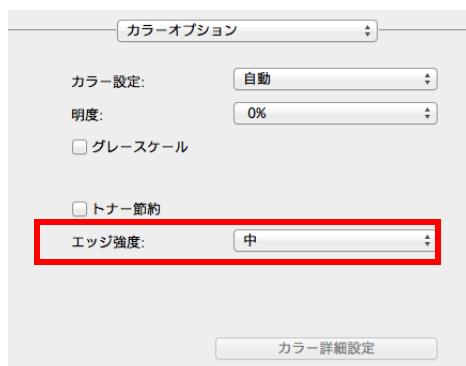
[カラーオプション] の [トナー節約] にチェックをつけると、印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。



小さい文字や薄い文字を見やすくする ([エッジ強度:])

表文字、グラフィックなど、画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。

[カラーオプション] の [エッジ強度:] で、強調する度合いを選びます。



3.4.7 カラープロファイルを使う

本機にカラープロファイルを登録する

Download Manager を使用して、カラープロファイルを本機のハードディスクに保存します。

- ✓ オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- ✓ あらかじめコンピューターのアプリケーションフォルダーに「Download Manager (モデル名)」フォルダーを新規作成し、作成したフォルダーに Download Manager のプログラムをコピーしておいてください。Download Manager のプログラムは、Driver & Utilities CD-ROM のメニューの【各種ユーティリティ】からユーティリティソフトウェアのダウンロードページを表示し、ダウンロードしてください。
- ✓ Download Manager の使い方について詳しくは、Download Manager のヘルプをごらんください。

- 1 ダウンロードマネージャーを起動します。
- 2 [カラープロファイル] を選び、[プリントの選択:] で本機を指定します。
- 3 [ダウンロード] を選び、ダウンロード先として [ディスク] を選びます。
- 4 [参照] をクリックし、本機のハードディスクにダウンロードするカラープロファイルを指定します。
→ カラープロファイルの名称は「ファイル名 =ASCII (8 文字以下) + 拡張子 ASCII (3 文字以下)」の形式に設定してください。
- 5 [プロファイルのダウンロード] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [終了] をクリックします。

カラープロファイルをプリンタードライバーに追加する

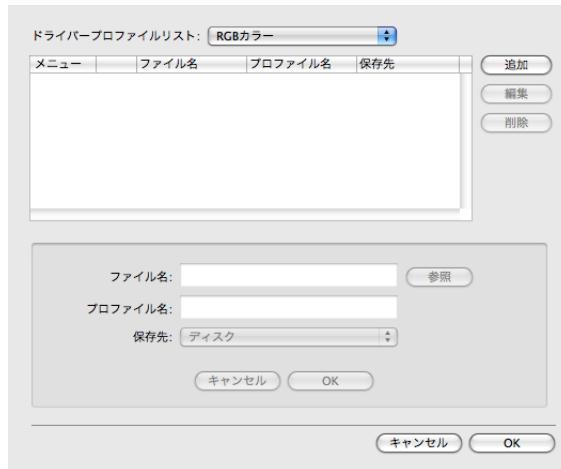
本機のハードディスクに保存したカラープロファイルをプリンタードライバーに追加します。

- ✓ オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- ✓ この機能は、本機と通信可能な場合に利用できます。本機と通信して本機が利用できるカラープロファイルを読み取ります。
- ✓ 本機のハードディスクにカラープロファイルを登録する方法について詳しくは、3-24 ページをごらんください。

- 1 [カラーオプション] の [カラー設定:] で [カスタム] を選び、[カラー詳細設定] をクリックします。
- 2 [プロファイルの管理] をクリックします。



- 3 ドライバープロファイルリストで、プリンタードライバーに追加するカラープロファイルの種類を選びます。



- 4 追加するカラープロファイルを選び、[追加] をクリックします。

- 5 [OK] をクリックします。

ドライバープロファイルリストにカラープロファイルが追加されます。

以降、ここで追加したカラープロファイルを [カラー詳細設定] 画面で指定して印刷できるようになります。詳しくは、3-22 ページをごらんください。



参考

Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 でサンドボックス対応アプリケーションをお使いの場合、この機能は利用できません。

3.5 こんな印刷のしかたがあります

3.5.1 1部だけお試し印刷する（[試し印刷]）

試し印刷について

試し印刷は、複数の部数を印刷するときに、1部だけ印刷して残り部数の印刷を待機する機能です。

印刷結果を確認してから、**操作パネル**で残り部数の印刷を指示できるので、大量のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [セキュリティ] 画面の [ジョブの印刷 / 保存:] で [試し印刷] を選びます。



- 2 部数を指定して印刷を実行します。

1部だけが印刷されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

- 1 メイン画面（コピー mode）で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、**選択**を押します。
- 2 [プリント文書] を選び、**選択**を押します。
- 3 ユーザー名を選び、**選択**を押します。
- 4 ジョブ名を選び、**選択**を押します。
→ ジョブ名を選び、**ストップ / リセット**を押すと、選択したジョブを削除できます。
- 5 必要に応じて印刷部数を変更してから**選択**を押し、印刷を開始します。

3.5.2 機密性の高い原稿を印刷する（[機密印刷]）

機密印刷について

機密印刷は、印刷データにパスワードをつけて、本機のハードディスクに保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ハードディスクから印刷するには、パスワードを入力する必要があるため、特に機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

コンピューターからの印刷のしかた

- 1 [セキュリティ] 画面の [ジョブの印刷 / 保存:] で [機密印刷] を選びます。



- 2 パスワードを入力します。

- 3 印刷を実行します。

印刷データが本機のハードディスクに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作

保存されたデータを印刷するには、プリンタードライバーで指定したパスワードの入力が必要です。

- 1 メイン画面（コピー mode）で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、選択を押します。
- 2 [プリント文書] を選び、選択を押します。
- 3 ユーザー名を選び、選択を押します。
- 4 ジョブ名を選び、選択を押します。
→ ジョブ名を選び、ストップ / リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。
- 5 パスワードを入力します。
- 6 必要に応じて印刷部数を変更してから選択を押し、印刷を開始します。

3.5.3 認証情報をつけて印刷する

認証設定時の印刷について

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で印刷する場合は、印刷するときに認証情報（ユーザー名とパスワード）を本機へ送る必要があります。これにより、本機で印刷できるユーザーを限定し、第三者の不正利用を防ぎます。

印刷が許可されていないユーザーの印刷ジョブや、認証情報のない印刷ジョブを本機が受信すると、自動的に破棄します。



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- 認証情報のない印刷ジョブとは、本機でユーザー認証／部門管理を設定しているにも関わらず、プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を正しく設定せずに送信した印刷ジョブのことです。プリンタードライバーの「セキュリティ」画面で「ユーザー認証」／「部門管理」にチェックをつけて、[ジョブの印刷 / 保存:] で「印刷」を選んで印刷を実行すると、認証情報のない印刷ジョブとして扱われます。
- Web Connection の「セキュリティ」 - 「認証 & プリント設定」で「認証 & プリント」が「有効」に設定されている場合、通常の印刷ジョブが、認証 & プリントジョブとして扱われます（初期値：「無効」）。認証&プリント機能について詳しくは、3-29 ページをごらんください。

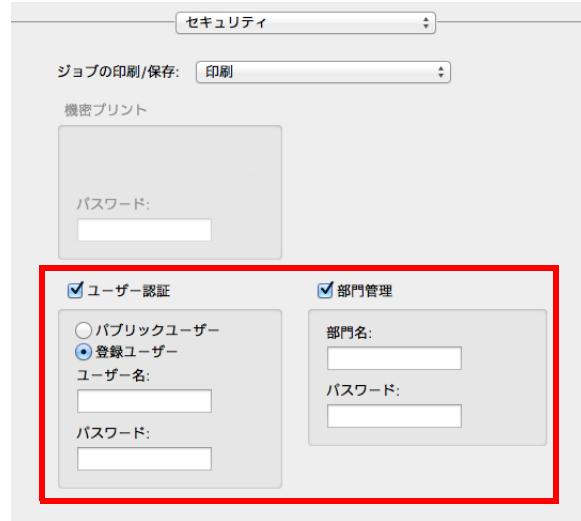


参照

ユーザー認証を導入している環境で機密性の高い文書を印刷するときは、認証&プリント機能を使うと、セキュリティの高い印刷ができます。詳しくは、3-29 ページをごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

- [セキュリティ] 画面の「ユーザー認証」（および「部門管理」）にチェックをつけています。



- ユーザー認証を行っている場合は、「ユーザー認証」にチェックをつけてから「登録ユーザー」を選び、ユーザー名とパスワードを入力します。
→ 本機でパブリックユーザー（登録されていないユーザー）が許可されている場合は、「パブリックユーザー」を選ぶことで、ユーザー名とパスワードを入力せずに印刷できます。
- 部門管理を行っている場合は、「部門管理」にチェックをつけてから部門名とパスワードを入力します。
- 印刷を実行します。
認証情報が正しい場合は印刷されます。

3.5.4 本機で認証すると同時に印刷する（[認証＆プリント]）

認証＆プリントについて

認証＆プリントは、ユーザー認証を導入している環境で、印刷データを本機のハードディスクに保存する機能です。すぐに印刷されないため、印刷物の紛失や置忘れを防ぐことができます。

ハードディスクから印刷するには、本機でユーザー認証を行う必要があるため、機密性の高い文書を印刷する場合に適しています。認証に成功すると、ログインユーザーの印刷データが自動的に印刷されるため、セキュリティを強化するとともにスムーズな運用ができます。



オプションのハードディスクと認証装置を装着し、ICカードによるユーザー認証を導入している場合に利用できます。

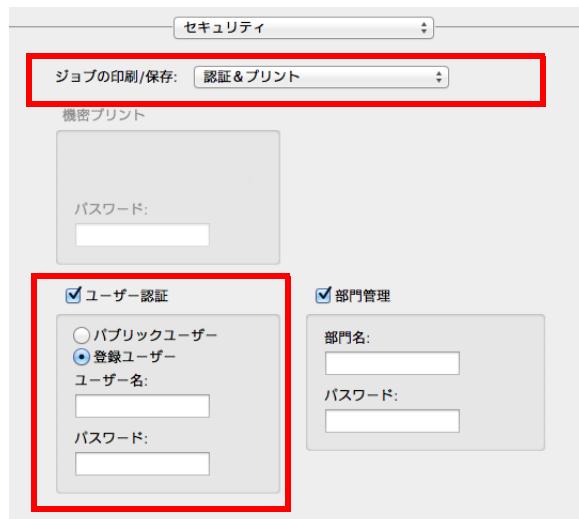


ユーザー認証／部門管理は、Web Connection でのみ設定できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

認証＆プリント機能を有効にするには、Web Connection の管理者モードの [セキュリティ] - [認証＆プリント設定] - [認証＆プリント] を [有効] に設定する必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

コンピューターからの印刷のしかた

- [ジョブの印刷 / 保存:] で [認証＆プリント] を選びます。



- [ユーザー認証] にチェックをつけてから [登録ユーザー] を選び、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 印刷を実行します。

印刷データが本機のハードディスクに保存されます。続いて、「本機での操作」へ進みます。

本機での操作（ログインと同時に印刷する）

- 1 ログイン画面で〔印刷／ログイン〕を選びます。
- 2 ICカード／NFC 対応モバイル端末を認証装置にかざし（置き）ます。
認証に成功すると、保存されているすべてのデータが印刷されます。

本機での操作（特定のデータだけを印刷する）

- 1 ログイン画面で〔ログイン〕を選びます。
- 2 ICカード／NFC 対応モバイル端末を認証装置にかざし（置き）ます。
- 3 メイン画面（コピー mode）で▲/▼を押して、〔USB/HDD〕を選び、選択を押します。
- 4 [認証＆プリント] を選び、選択を押します。
- 5 [ログインユーザー] を選び、選択を押します。
- 6 ジョブ名を選び、スタートを押し、印刷を開始します。
→ ジョブ名を選び、ストップ／リセットを押すと、選択したジョブを削除できます。

3.6 プリンタードライバーの設定項目

3.6.1 プリンタードライバーの [ページ設定] 画面について

[ページ設定] 画面の表示のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [ページ設定] (または [用紙設定]) をクリックします。
- 2 [対象プリンタ:] で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
[ページ属性] 画面が表示されます。



[ページ属性] でできること

[ページ属性] では、用紙に関する基本的な設定ができます。

設定	説明
[用紙サイズ:]	印刷する用紙のサイズを選びます。 不定形サイズの用紙に印刷する場合は、[カスタムサイズを管理 ...] を選びます。詳しくは、3-15 ページをごらんください。
[方向:]	アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。 プリンタードライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合は合わせてください。
[拡大縮小:]	原稿画像を拡大または縮小するときに、倍率を指定します。設定範囲は Mac OS X のバージョンで異なります。

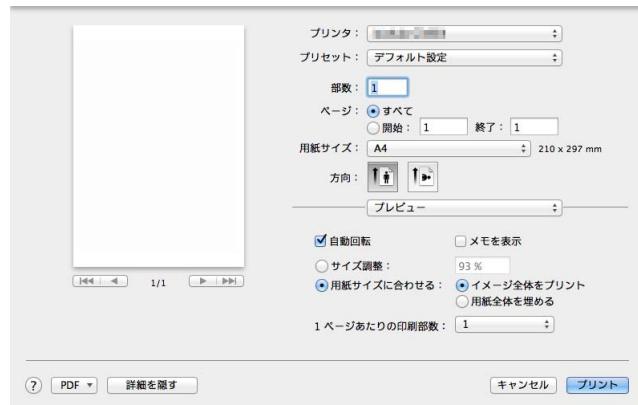
参考

Mac OS X 10.5 以降をお使いの場合は、[プリント] 画面でも [用紙サイズ] と [方向] の設定ができます。

3.6.2 プリンタードライバーの【プリント】画面について

[プリント] 画面の表示のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、【ファイル】メニューから【印刷】をクリックします。
- 2 【プリンタ】で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。



各画面で共通の項目について

[プリント] 画面で共通の設定やボタンについて説明します。

設定	説明
[部数]	複数の部数を印刷するときに、印刷する部数を指定します。
[丁合い]	この機能は設定しないでください。 【プリンタの機能】の【基本設定】メニューの【ソート（1部ごと）】で設定してください。
[ページ]	複数ページの原稿を印刷するときに、印刷するページの範囲を指定します。
[用紙サイズ]	印刷する用紙のサイズを指定します。
[方向]	印刷方向を指定します。
[キャンセル]	変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
[プリント]	変更した設定を有効にして印刷します。

参考

- [部数]、[ページ]、[用紙サイズ]、[方向] は、Mac OS X 10.5 以降で表示されます。
- Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 の場合、[丁合い] は表示されません。
- Mac OS X 10.3/10.4 の場合、[部数]、[ページ] は、[印刷部数と印刷ページ] で設定できます。

3.6.3 [レイアウト] でできること

[レイアウト] では、印刷するときのレイアウトに関する設定ができます。

設定	説明
[ページ数／枚:]	1枚の用紙の同じ面に何ページ印刷するかを選びます。 たとえば、[9] を選ぶと、9ページ分を1枚の用紙の同じ面に縮小して印刷します。 ただし、Adobe Reader をお使いの場合は、[1] 以外を設定して印刷すると正常に動作しません。
[レイアウト方向:]	[ページ数／枚:] を設定した場合に、ページの配置順序を選びます。
[境界線:]	[ページ数／枚:] を設定した場合に、ページ間に境界線を入れるかどうかを選びます。境界線を入れる場合は、境界線の種類を選びます。
[両面:]	この機能は設定しないでください。 [プリンタの機能] の [レイアウト] メニューの [印刷種類:] で設定してください。
[ページの方向を反転]	印刷画像を180度回転するときにチェックを付けます。
[左右反転]	印刷画像の左右を反転させるときにチェックを付けます。

3.6.4 [スケジューラ] でできること

[スケジューラ] では、印刷を開始するタイミングや優先順位を設定できます。

設定	説明
[書類のプリント:]	印刷を開始するタイミングを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> [今すぐプリント]：すぐに印刷を開始します。 [後でプリント]：指定した時間に印刷を開始します。 [保留]：印刷ジョブをコンピューターに保持します。プリンターのジョブ画面から印刷を開始できます。
[優先順位:]	印刷ジョブの優先順位を指定します。



この機能は、Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6 のみ設定できます。

3.6.5 [用紙処理] でできること

[用紙処理] では、印刷するページの指定や、印刷するページの順番の指定などができます。

設定	説明
[丁合:]	この機能は設定しないでください。 [プリンタの機能] の [基本設定] メニューの [ソート (1部ごと):] で設定してください。
[プリントするページ:]	印刷するページ（全ページ、奇数ページ、偶数ページ）を指定します。
[ページの順序:]	印刷するページの順番を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> [自動]：印刷するページの順番を自動で判断します。 [通常]：最初のページから順番に印刷します。 [逆送り]：最終ページから順番に印刷します。
[出力用紙サイズ:]	印刷する用紙のサイズを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> [用紙サイズに合わせる]：指定したサイズの用紙に印刷します。 [縮小のみ]：縮小するサイズの用紙のみ印刷します。



[丁合:] は、Mac OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 のみ表示されます。

3.6.6 [ColorSync] でできること

[ColorSync] では、色変換の方法や Quartz フィルターの指定ができます。

設定	説明
[カラー変換:]	色変換の方法を選びます。 ・ [標準]：コンピューターで色変換を行います。 ・ [プリンタのカラー]：プリンターで色変換を行います。
[Quartz フィルタ:]	適用する Quartz フィルターを指定します。



この機能は、Mac OS X 10.3/10.4 のみ設定できます。

3.6.7 [カラー・マッチング] でできること

[カラー・マッチング] では、色変換の方法やカラープロファイルの指定ができます。

設定	説明
[ColorSync] / [プリンタのカラー]	色変換の方法を選びます。 ・ [ColorSync]：コンピューターで色変換を行います。 ・ [プリンタのカラー]：プリンターで色変換を行います。
[プロファイル:]	色変換に使用するカラープロファイルを指定します。



この機能は、Mac OS X 10.5 以降で設定できます。

3.6.8 [表紙] でできること

[表紙] では、表紙の印刷に関する設定ができます。

設定	説明
[表紙をプリント]	表紙を文書の前ページに印刷するか、文書の後ページに印刷するかを選びます。
[表紙のタイプ]	表紙に印刷するメッセージの種類を選びます。
[課金情報:]	表紙に課金情報を印刷する場合に、印刷する内容を入力します。

3.6.9 [エラー処理] でできること

[エラー処理] では、PS 印刷のエラー処理に関する設定ができます。

設定	説明
[PostScript エラー]	PS 印刷のエラー時にレポートを出力するかどうかを選びます。
[トレイの切り換え]	このプリンタードライバーでは使用しません。



この機能は、Mac OS X 10.3/10.4 のみ設定できます。

3.6.10 [給紙] でできること

[給紙] では、印刷に使用する用紙の給紙トレイの指定ができます。

設定	説明
[全体:]	印刷する用紙の給紙トレイを指定します。
[先頭ページのみ:]	最初のページを印刷する用紙の給紙トレイを指定します。また、[残りのページ:] で、残りのページを印刷する用紙の給紙トレイを指定します。

3.6.11 [カラーオプション] でできること

[カラーオプション] では、原稿画質に関する設定ができます。カラーの設定や、イメージの処理をどのようにするかを設定できます。

設定	説明
[カラー設定:]	原稿に合わせてカラー設定のモードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> [自動]：自動で原稿に適したカラー設定にします。 [写真]：イメージ品質を優先したカラー設定にします。 [プレゼンテーション]：文字や図形などが混在した原稿に適したカラー設定にします。 [カスタム]：原稿内のオブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィックス）ごとに手動でカラー設定を行います。[カスタム] を選ぶと [カラー詳細設定] が有効になります。
[明度:]	原稿に合わせて、明度を調整します。
[グレースケール]	カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選びます。
[トナー節約]	トナー消費量を節約したいときにチェックをつけます。印刷濃度を抑えます。
[エッジ強度:]	小さい文字や薄い文字をくっきりさせたいときに画像のエッジ部分を強調する度合いを選びます。
[カラー詳細設定]	印刷時に使うカラープロファイルのタイプや適用するプロファイルなどを文書の要素ごとに詳細に指定します。詳しくは、3-22 ページをごらんください。

3.6.12 [セキュリティ] でできること

[セキュリティ] では、印刷機能に関する設定ができます。

設定	説明
[ジョブの印刷 / 保存:]	本機から原稿を印刷する方法を選びます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[印刷]	通常の印刷をするときに選びます。
[機密印刷]	機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で ID とパスワードを入力することによって印刷します。 詳しくは、3-27 ページをごらんください。
[試し印刷]	大量の部数を印刷するときに選びます。1 部だけ印刷して残りの部数の印刷を待機します。 詳しくは、3-26 ページをごらんください。
[認証 & プリント]	ユーザー認証を導入している環境で、機密性の高い文書を印刷するときに選びます。本機側で認証を実施することで印刷します。 詳しくは、3-29 ページをごらんください。
[機密プリント]	[ジョブの印刷 / 保存:] で [機密印刷] を選んだ場合に、パスワードを入力します。
[ユーザー認証]	ユーザー認証を導入している場合にチェックをつけ、ユーザー名とパスワードを入力します。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[部門管理]	部門管理を導入している場合にチェックをつけ、部門名とパスワードを入力します。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

3.6.13 [プリンタの機能] でできること

[基本設定] メニューでは、印刷の基本的な設定ができます。

設定	説明
[ソート (1部ごと)]	複数の部数を印刷するときに、1部ずつ区別して排紙するかどうかを選びます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
[近似サイズに拡大縮小]	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが原稿データのページサイズに合わない場合、自動的にページサイズを拡大または縮小して、近いサイズの用紙に印刷するかどうかを選びます。
[印刷済み用紙の裏に印刷]	一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを選びます。 この機能を使用する場合は、本機で印刷した用紙の裏面をお使いください。 なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。
[用紙種類:]	印刷する用紙の種類を選びます。
[解像度:]	印刷時の解像度を選びます。

[レイアウト] メニューでは、印刷のレイアウトに関する設定ができます。

設定	説明
[印刷種類:]	用紙の両面に印刷するかどうかを選びます。
[開き方向 / とじ方向:]	[印刷種類:] で [両面] を選んだ場合に、用紙の開き方向を選びます。

3.6.14 [サプライのレベル] でできること

[サプライのレベル] では、消耗品の状態を確認できます。



- この機能は、Mac OS X 10.4 以降で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続されている場合に表示されます。
- この機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては表示されない場合があります。

3.6.15 [一覧] でできること

[一覧] では、現在の印刷設定を確認できます。



この機能は、Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6 のみ表示されます。

3.7 プリンタードライバーの削除

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

- 1 アップルメニューの【システム環境設定...】を開き、【プリントとファクス】アイコンをクリックします。
 - Mac OS X 10.7/10.8 の場合は、【プリントとスキャン】アイコンをクリックします。Mac OS X 10.9/10.10 の場合は、【プリンタとスキャナ】アイコンをクリックします。
 - Mac OS X 10.3 の場合は、【Macintosh HD】(システムのハードディスク)-【アプリケーション】-【ユーティリティ】内にある【プリンタ設定ユーティリティ】をダブルクリックして開きます。
- 2 削除するプリンターを選び、【-】(または【削除】)をクリックします。
選んだプリンターが削除されます。
- 3 画面を閉じます。
- 4 インストールした【Macintosh HD】(システムのハードディスク)の【ライブラリ】-【Printers】-【PPDs】-【Contents】-【Resources】内 (Mac OS X 10.5 以降をお使いの場合は、【Resources】内、Mac OS X 10.3/10.4 をお使いの場合は、【Resources】内の各言語フォルダー内) の本機の gz ファイルを【ゴミ箱】へドラッグします。
- 5 【ライブラリ】-【Printers】内の不要なファイルを削除します。
 - 【ライブラリ】-【Printers】-【KONICAMINOLTA】を開き、本機のフォルダーを【ゴミ箱】へドラッグします。
- 6 Mac OS X 10.3/10.4/10.5 をお使いの場合は、【ライブラリ】-【Receipts】を開き、本機の pkg ファイルを【ゴミ箱】へドラッグします。
- 7 コンピューターを再起動します。
以上で、プリンタードライバーの削除の完了です。

4

プリンタードライバーを使わず
に印刷する

4 プリンタードライバーを使わずに印刷する

4.1 コンピューターから直接印刷する（ダイレクトプリント）

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントは、プリンタードライバーを使わずに、コンピューター上のファイルを直接本機に送信して印刷する機能です。Web Connection を使って、コンピューターに保存されているファイルを指定することで印刷できます。

ファイル形式は、PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML (.docx/.xlsx/.pptx)、PPML (.ppml/.vdx/.zip) に対応しています。



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- 暗号化された PDF ファイルは印刷できません。
- Web Connection のダイレクトプリントと同じ機能を、より手軽にお使いいただけるアプリケーションソフトウェアとして Direct Print があります。デスクトップアイコンへのドラッグ & ドロップによる印刷、Windows の [送る] メニューを使った印刷、ホットフォルダー（印刷監視用フォルダー）を使った自動印刷などができます。また、印刷設定を行ったジョブ設定を複数登録しておくこともできます。Direct Print は、Driver & Utilities CD-ROM のメニューの [各種ユーティリティ] からユーティリティソフトウェアのダウンロードページを表示し、ダウンロードしてください。詳しくは、Direct Print のマニュアルをごらんください。
- Mobile (for iPhone/iPad/Android) は、Direct Print アプリケーションソフトウェアと同じように、ファイルを直接プリンターへ送信します。したがって、プリンターが対応している形式のファイルのみ印刷できます。Mobile (for iPhone/iPad/Android) は、App Store または Google Play よりダウンロードしてください。詳しくは、Mobile (for iPhone/iPad/Android) のヘルプをごらんください。

ダイレクトプリントのしかた

Web ブラウザーを使って Web Connection へ接続し、印刷するファイルを指示します。

- 1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。
→ Web ブラウザーの URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキー ボードの Enter を押します。
http://<本機の IP アドレス> /
- 2 パブリックユーザーまたは登録ユーザーのアカウントでログインします。
- 3 [プリント] タブの [ダイレクトプリント] をクリックします。
- 4 [参照] をクリックして印刷するファイルを選び、[送信] をクリックします。



ファイルが送信され、印刷されます。

 **関連設定**

- OOXML (.docx/.xlsx/.pptx) ファイルをダイレクト印刷するときの印刷設定ができます。
設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [OOXML 印刷設定]
- TIFF、JPEG、PDF 形式のファイルをダイレクト印刷するときの、印刷する用紙サイズの決定方法を設定できます。
設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [用紙設定] - [TIFF 画像用紙設定]（初期値：[優先用紙サイズ]）

4.2 USB メモリーから直接印刷する

USB メモリーからの印刷について

本機に USB メモリーを接続し、USB メモリーに保存されているファイルを指定して印刷できます。

ファイル形式は、PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML (.docx/.xlsx/.pptx)、PPML (.ppml/.vdx/.zip) に対応しています。



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- 暗号化された PDF ファイルは印刷できません。



関連設定 (管理者向け)

USB メモリーからの印刷を有効にするか無効にするかを設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [フォルダー設定] - [外部メモリー機能設定] - [文書印刷] (初期値：[ON])

対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

項目	仕様
対応メディア	USB メモリー (USB2.0 対応)
ファイルシステム	FAT32



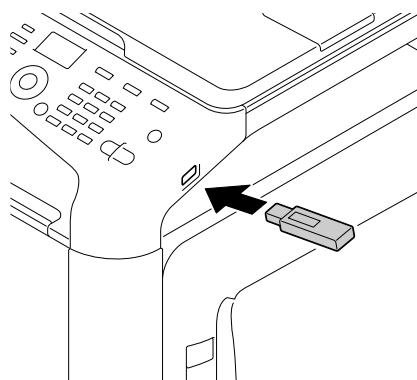
参考

本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

- 操作パネル近くの側面にある USB コネクターを使用してください。
- USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー以外の USB 機器 (ハードディスク、USB ハブなど) は使用しないでください。
- 本機の起動中に USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。

印刷のしかた

- 1 本機に USB メモリーを接続します。



- 2 メイン画面（コピー モード）で **▲/▼** を押して、[USB/HDD] を選び、**選択**を押します。
- 3 [外部メモリ] を選び、**選択**を押します。
- 4 [ファイルリスト] を選び、**選択**を押します。
- JPEG、TIFF ファイルを表示する場合は、[ファイルの種類] で [PDF,XPS,JPEG, TIFF] を選びます。
- 5 印刷したいファイルを選び、**選択**を押します。
- 印刷したいファイルがフォルダー内にある場合は、フォルダーを選びます。
- フォルダーとファイルを合わせて、99 個まで表示できます。
- 7 階層以上のフォルダーは、表示できません。
- 6 必要に応じて、用紙サイズ、両面印刷、印刷部数、部単位印刷の設定を変更します。

設定	説明
[用紙サイズ]	印刷する用紙のサイズを選びます。選択したファイルの形式が、TIFF または JPEG の場合に設定できます。
[両面印刷]	用紙の片面に印刷するか、両面に印刷するかを選びます。両面に印刷する場合は、開き方向を選びます。
[印刷部数]	印刷する部数を設定します。
[部単位印刷]	複数部を印刷する場合、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ 区別して排紙するかどうかを選びます。

- 7 スタートを押します。
- カラーで印刷する場合は、**スタート（カラー）**を押します。モノクロで印刷する場合は、**スタート（モノクロ）**を押します。
- 印刷が開始されます。

4.3 AirPrint 対応端末から印刷する (AirPrint)

AirPrintについて

AirPrintは、iOS端末(iPad／iPhone／iPod touch)、およびMacから同一ネットワーク上の複合機やプリンターを自動検出して印刷する機能です。

AirPrint機能を使うと、プリンタードライバーのインストールを行うことなく、iOS端末およびMacで表示しているE-mail、写真、Webページなどを本機で直接印刷できます。



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- AirPrint機能を使うには、iOS端末がiOS4.2以降に対応している必要があります。
- AirPrint機能を使うには、Mac OS X(10.7以降)が必要です。詳しくはAppleのWebサイトを参照してください。
- AirPrint機能を使うには、本機が接続されているネットワークにiOS端末およびMacを無線LANで接続する必要があります。iOS端末およびMacのネットワーク設定について詳しくは、iOS端末およびMacの取扱説明書を参照してください。
- AirPrint機能は、本機のユーザー認証機能に対応していません。ユーザー認証を導入している環境でAirPrint機能を使う場合は、Web Connectionの管理者モードで「セキュリティ」-「認証」-「一般設定」-「認証なしプリント」を「許可」に設定してください。

お使いになるために必要な作業(管理者向け)

本機のAirPrint機能を有効にします。

設定のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 應用機能編]の1章「Web Connectionを使う」をごらんください。

iOS端末から印刷する

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。
- 2 iOS端末でアプリケーションを起動し、印刷したい内容を表示します。
- 3 プリンターアイコンまたは「プリント」をタップします。
→ iOSのバージョンや利用するアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。
- 4 印刷するプリンターを選択します。
- 5 必要に応じて、ページ範囲、部数、両面印刷を設定します。
→ アプリケーションやファイルの種類によって設定できる項目が異なります。
- 6 「プリント」をタップします。



参考

お使いの端末から、初めて本機でAirPrintを使用する場合は、本機が節電状態になっていると、AirPrintでプリンターを選択するときに、本機が表示されない場合があります。本機の電源キーを押し、節電状態から復帰させた後、プリンターを選択してください。

Mac から印刷する

- ✓ Mac OS のバージョンや利用するアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。
- 2 Mac でアプリケーションを起動し、印刷したい内容を表示します。
- 3 [ファイル] メニューから [プリント] をクリックします。
- 4 [プリンタ] メニューから目的のプリンターを選択します。
 - 目的のプリンターが表示されていない場合は、[プリンタ] メニューから [プリンタを追加...] をクリックし、目的のプリンターを追加します。
 - プリンター名は、Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [AirPrint 設定] で確認できます。
- 5 必要に応じて、ページ範囲、部数、両面印刷を設定します。
 - アプリケーションやファイルの種類によって設定できる項目が異なります。
- 6 [プリント] をクリックします。



参考

お使いの端末から、初めて本機で AirPrint を使用する場合は、本機が節電状態になっていると、AirPrint でプリンターを選択するときに、本機が表示されない場合があります。本機の電源キーを押し、節電状態から復帰させた後、プリンターを選択してください。

4.4 Android 端末から印刷する (Mopria プリント)

Mopria プリント機能について

Mopria とは、メーカー・機種に合わせてプリンタードライバーなどの専用アプリケーションをインストールすることなく、モバイル端末から無線で印刷できる規格のことです。

本機は Mopria プリント機能に対応しており、Mopria 対応モバイル端末から印刷できます。



参考

- オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
- Mopria プリント機能を使うには、本機が接続されているネットワークに Mopria 対応モバイル端末を無線 LAN で接続する必要があります。モバイル端末のネットワーク設定について詳しくは、モバイル端末の取扱説明書を参照してください。
- Mopria プリント機能は、本機のユーザー認証機能に対応していません。ユーザー認証を導入している環境で Mopria プリント機能を使う場合は、Web Connection の管理者モードで [セキュリティ] - [認証] - [一般設定] - [認証なしプリント] を [許可] に設定してください。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

Mopria 機能を使うには、以下の設定を有効にしてください。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [http サーバー設定] - [http サーバー設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [http サーバー設定] - [IPP 設定]
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [Bonjour 設定]
- Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [IPP 設定] - [IPP ジョブの受信]

印刷のしかた

- ✓ モバイル端末や利用するアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。
- 2 Mopria 対応モバイル端末でアプリケーションを起動し、印刷したい内容を表示します。
- 3 プリンターの選択画面を表示し、印刷するプリンターを選択します。
- 4 必要に応じて、印刷の設定を変更します。
- 5 印刷を実行します。



参考

お使いの端末から、初めて本機で Mopria 機能を使用する場合は、本機が節電状態になっていると、Mopria でプリンターを選択するときに、本機が表示されない場合があります。本機の電源キーを押し、節電状態から復帰させた後、プリンターを選択してください。

4.5 Wi-Fi Direct を使って印刷する

Wi-Fi Direct について

Wi-Fi Direct は、アクセスポイントがなくても、無線で端末を直接接続できる規格です。

Wi-Fi Direct 対応のスマートフォンやタブレット PC などのモバイル端末から、端末に保存されているファイルを指定して印刷できます。



Wi-Fi Direct を使用するには、オプションのネットワークカードと取付けキットが必要です。

本機側：お使いになるために必要な作業（管理者向け）

本機で Wi-Fi Direct を使用するための設定をします。

設定のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

端末側：お使いになるために必要な作業

お使いの端末と本機を Wi-Fi Direct で接続します。

- ✓ お使いの端末の操作方法について詳しくは、端末のマニュアルをごらんください。
- ✓ お使いの端末によっては、Wi-Fi Direct で本機に接続できないことがあります。詳しくは、端末のマニュアルをごらんください。

1 端末の設定メニューで「Wi-Fi Direct」を選びます。

Wi-Fi Direct 対応機器の一覧が表示されます。

2 一覧から、本機の SSID を選択します。

端末に本機が登録され、接続の設定が完了します。



Wi-Fi Direct に未対応の端末の場合、Wi-Fi (設定) 画面に本機の Wi-Fi Direct 接続用の仮想 SSID が表示されます。端末の Wi-Fi (設定) 画面で本機の仮想 SSID を選択することで、端末と本機を Wi-Fi Direct で接続できます。

モバイル端末から印刷する

- ✓ モバイル端末に Mobile (for iPhone/iPad/Android) のインストールが必要です。

1 Mobile (for iPhone/iPad/Android) に本機を登録します。

2 印刷するファイルを指定し、印刷を実行します。

→ 印刷のしかたについて詳しくは、Mobile (for iPhone/iPad/Android) のヘルプをごらんください。

コンピューターから印刷する

コンピューターと本機を Wi-Fi Direct で接続したあと、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

5 索引

5 索引

Numerics

180 度回転 2-28

A

AirPrint 4-6

B

Bonjour 3-2, 3-5

C

ColorSync 3-34

L

LAN ケーブル 1-3

M

Mopria 4-8

My タブ 2-19, 2-59

R

Rendezvous 3-2, 3-6

U

USB ケーブル 1-3

USB メモリー 4-4

W

Wi-Fi Direct 4-9

あ行

イメージ圧縮 2-39

印刷設定 2-9, 2-16, 2-18, 2-56, 3-12, 3-14

ウォーターマーク 2-30

エッジ強度 2-40, 3-23

エラー処理 3-34

オーバーレイ

印刷 2-31

登録 2-33

お気に入り 2-18

オプション 2-9, 2-16, 3-12

か行

解像度 2-36, 3-21

拡大縮小 3-15

画質調整 2-37

画像シフト 2-29

画像品質 2-63

カバー 2-35

カバーシート 2-62

カラー・マッチング 3-34

カラーオプション 3-35

カラー設定 2-38, 3-22

カラー選択 2-36

カラープロファイル 3-24

基本設定 2-60

機密印刷 2-45, 3-27

給紙 3-16, 3-20, 3-35

給紙トレイ 2-22

区切りページ 2-35

グレースケール 3-21

原稿サイズ 2-21

コピープロテクト 2-34

さ行

サプライのレベル 3-36

左右反転 3-19

準備

Bonjour 接続 3-2

USB 接続 2-10, 3-8

ネットワーク接続 2-2

詳細設定 2-59

小冊子 2-26

初期設定 2-55

ズーム 2-20

スケジューラ 3-33

スタンプ 2-62

セキュリティ 3-35

ソート 2-23, 3-17

装置情報 2-55

挿入紙 2-62

その他 2-64

た行

ダイレクトプリント 4-2

試し印刷 2-44, 3-26

とじしろ 2-27

トナー節約 2-40, 3-23

な行

認証 & プリント 2-50, 3-29

は行

白紙抑制 2-25

パターン 2-39

表紙 2-35, 3-20, 3-34

フォント設定 2-40

部数 2-23, 3-17

部門認証 2-48, 3-28

プリンター機能

印刷のしかた 2-17, 3-13

概要 1-2

システム環境 1-2

プリンタードライバー

CD-ROM 2-5

PCL ドライバー 2-5

PS ドライバー 2-5

XPS ドライバー 2-5

アンインストール 2-65, 3-37

インストール (Bonjour 接続) 3-4

インストール (USB 接続) 2-10, 3-9

インストール (ネットワーク接続)	2-4
初期設定 (Bonjour 接続)	3-7
初期設定 (USB 接続)	2-16, 3-12
初期設定 (ネットワーク接続)	2-9
設定	2-52, 3-31
プリンタの機能	3-36
プロパティ	2-52
ページ印字	2-62
ページ数／枚	3-18
ページ設定	3-15, 3-31
ページ属性	3-31
ページの方向を反転	3-19
ページ割付	2-24, 2-28
保存	2-47

ま行

明度	3-21
----------	------

や行

ユーザー認証	2-48, 3-28
用紙サイズ	2-20
用紙種類	2-21, 3-16
用紙処理	3-33

ら行

両面	2-24, 3-18
レイアウト	2-61, 3-33



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社